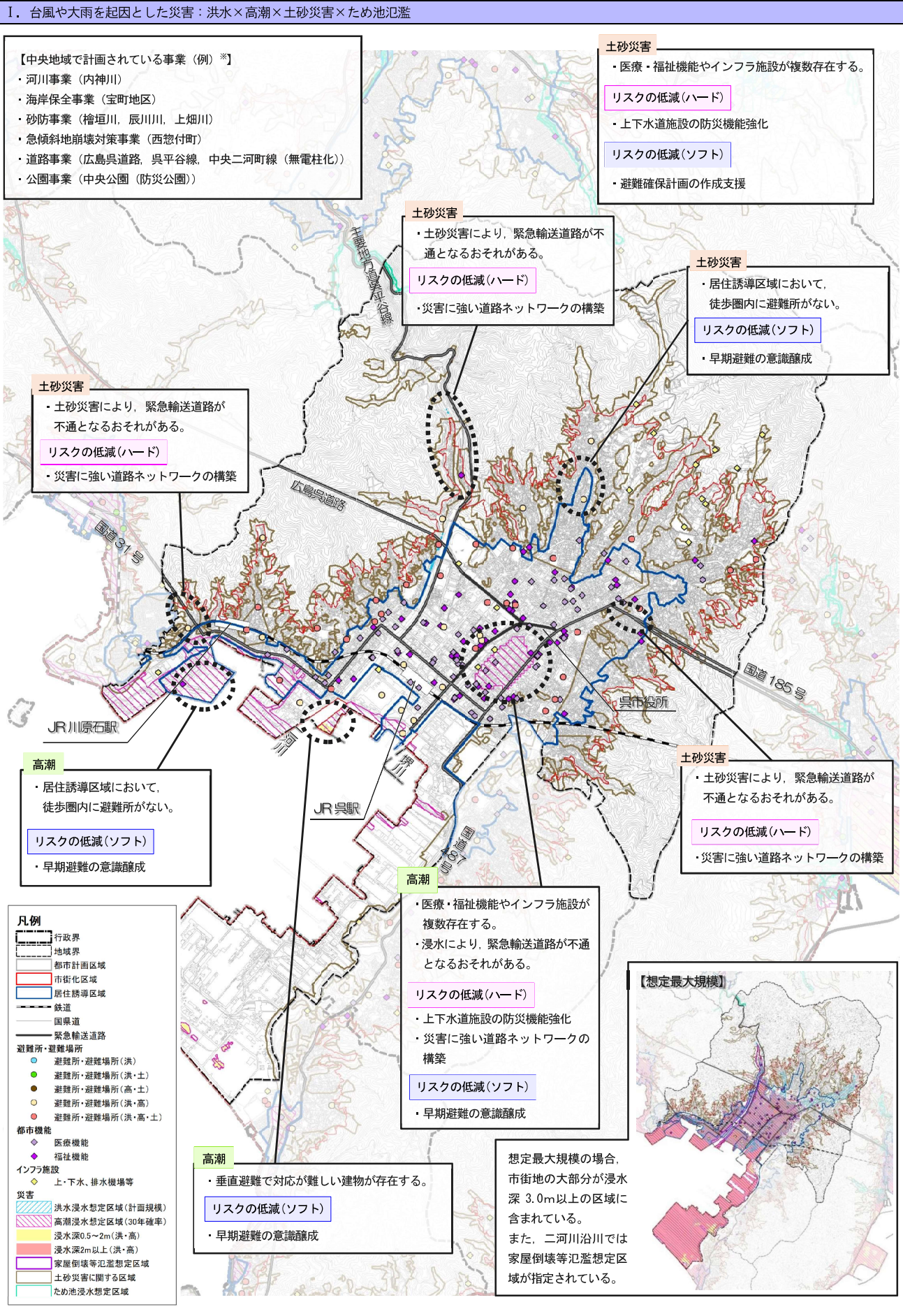
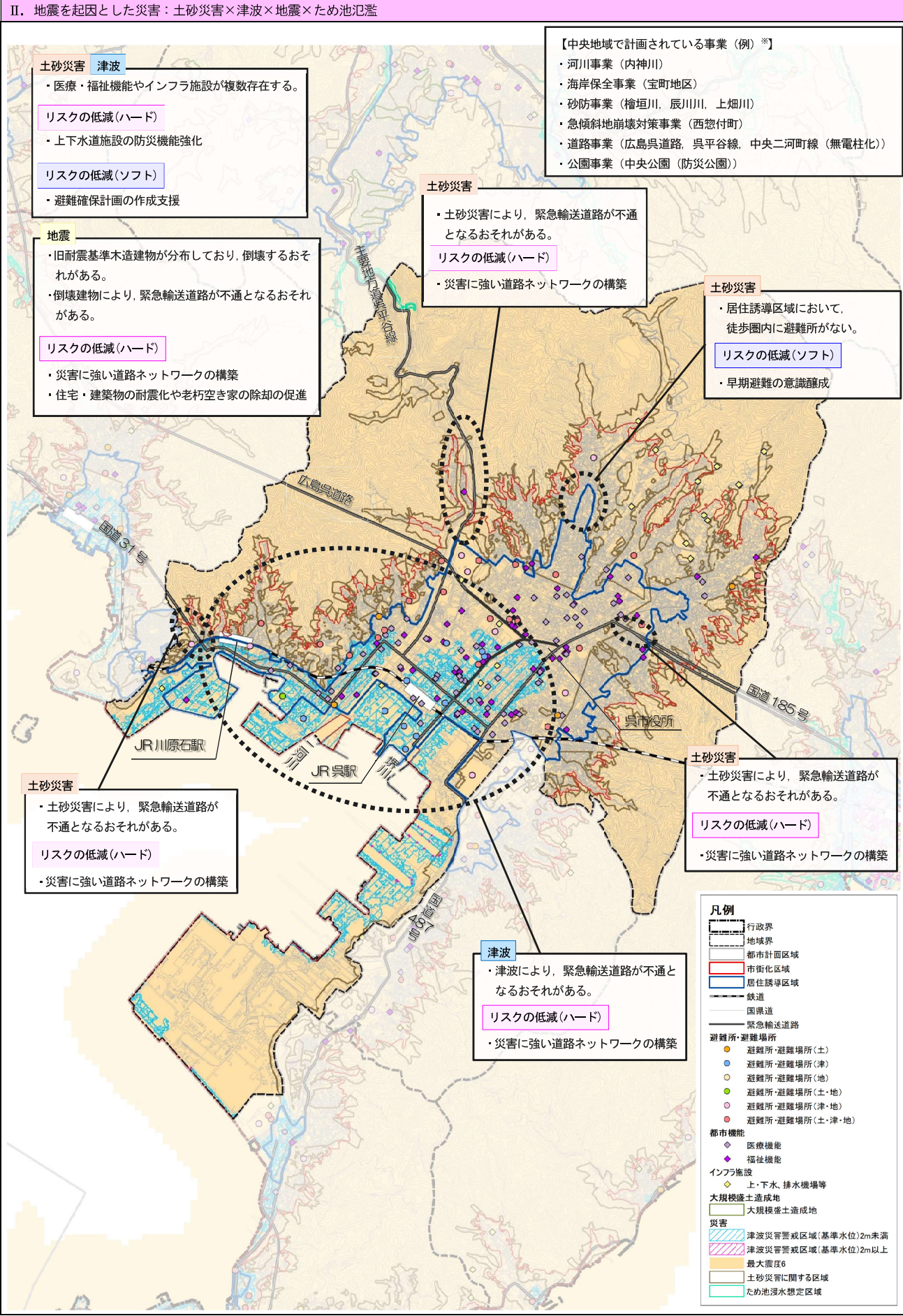


ミクロ分析まとめ（地域単位での災害リスク分析と課題の抽出）

(1) 中央地域



※計画されている事業（例）は呉市土木未来プランや呉市高潮・津波対策整備計画等より抜粋。



(2) 宮原地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

【宮原地域で計画されている事業（例）】

- ・急傾斜地崩壊対策事業（宮原1丁目県営住宅地区、牛ヶ迫地区）

土砂災害

- ・医療・福祉機能やインフラ施設が複数存在する。

リスクの低減(ハード)

- ・上下水道施設の防災機能強化

リスクの低減(ソフト)

- 避難確保計画の作成支援

土砂災害

- ・土砂災害により、緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減(ハード)

- ・災害に強い道路ネットワークの構築

凡例


 行政界
 地域界
 都市計画区域
 市街化区域
 居住誘導区域
 鉄道
 国県道
 緊急輸送道路
 避難所・避難場所
 ● 避難所・避難場所(洪)
 ● 避難所・避難場所(洪・土)
 ● 避難所・避難場所(高・土)
 ● 避難所・避難場所(洪・高)
 ● 避難所・避難場所(洪・高・土)

都市機能

- ◆ 医療機能
- ◆ 福祉機能

インフラ施設

- ◆ 上・下水、排水機場等

災害

- 洪水浸水想定区域
- 高潮浸水想定区域
- 浸水深0.5～2m(洪・高)
- 浸水深2m以上(洪・高)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(L)
- 土砂災害に関する区域
- ため池浸水想定区域

【想定最大規模】

想定最大規模の場合に
おいても、浸水想定区
域の指定なし。

※ 洪水 高潮 ため池氾濫 の指定なし

II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

【宮原地域で計画されている事業（例）】

・急傾斜地崩壊対策事業（宮原1丁目県営住宅地区、牛ヶ迫地区）

土砂災害

- ・医療・福祉機能やインフラ施設が複数存在する。

リスクの低減(ハード)

- ・上下水道施設の防災機能強化

リスクの低減(ソフト)

- ・避難確保計画の作成支援

地震

- ・旧耐震基準木造建物が分布しており、倒壊するおそれがある。
- ・倒壊建物により、緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減(ハード)

- ・災害に強い道路ネットワークの構築

- ・住宅・建築物の耐震化や老朽空き家の除却の促進

土砂災害

- ・土砂災害により緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減(ハード)

- ・災害に強い道路ネットワークの構築

凡例

行政界
 地域界
 都市計画区域
 市街化区域
 居住誘導区域
 鉄道
 国県道
 緊急輸送道路

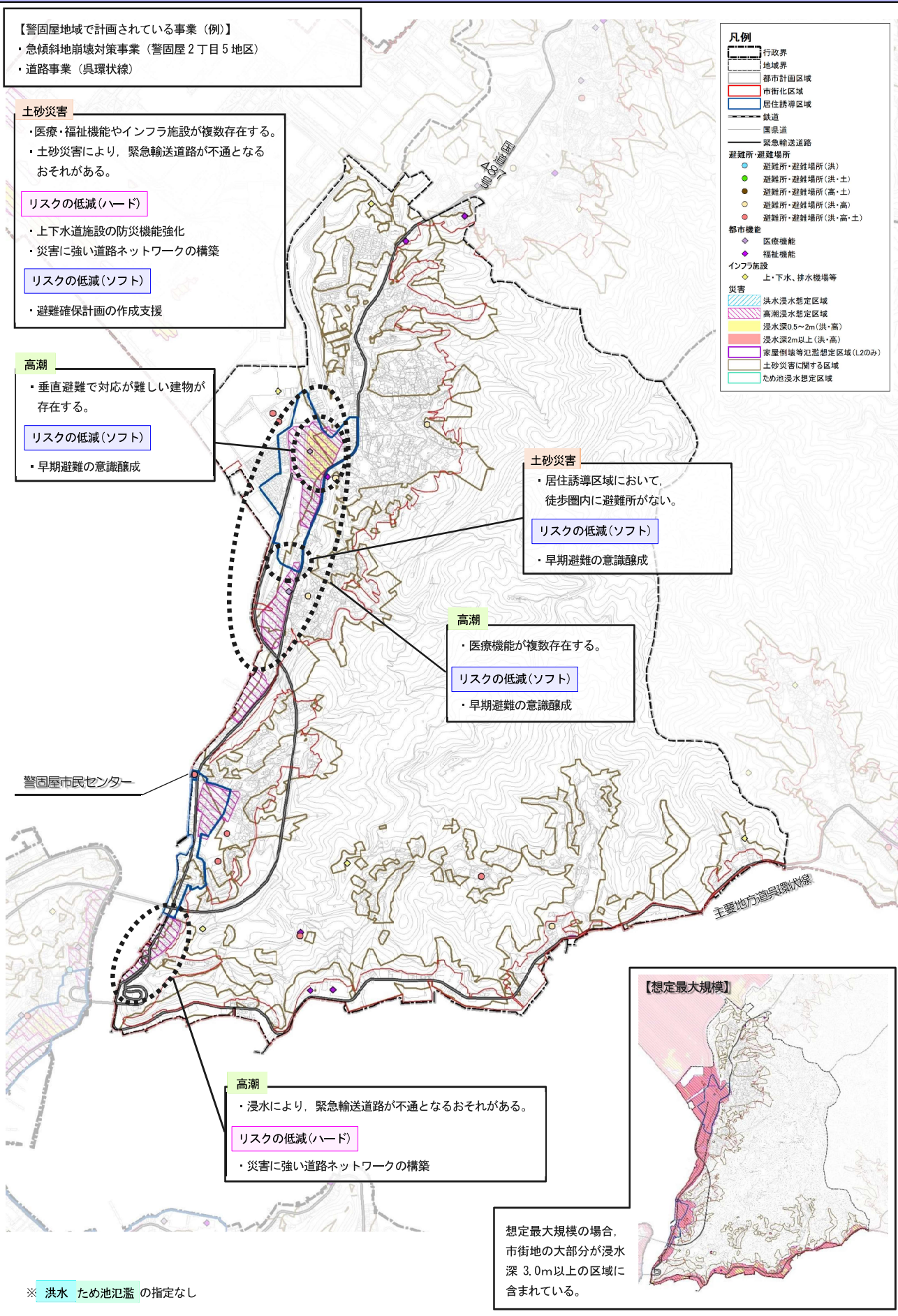
避難所・避難場所
 ● 避難所・避難場所(土)
 ● 避難所・避難場所(津)
 ● 避難所・避難場所(地)
 ● 避難所・避難場所(土・地)
 ● 避難所・避難場所(津・地)
 ● 避難所・避難場所(土・津・地)

都市機能
 医療機能
 福祉機能
 インフラ施設
 上・下水、排水機埠等
 大規模盛土造成地
 大規模盛土造成地
 災害
 津波災害警戒区域(基準水位)
 津波災害警戒区域(基準水位)
 最大震度6
 土砂災害に関する区域
 ため池浸水想定区域

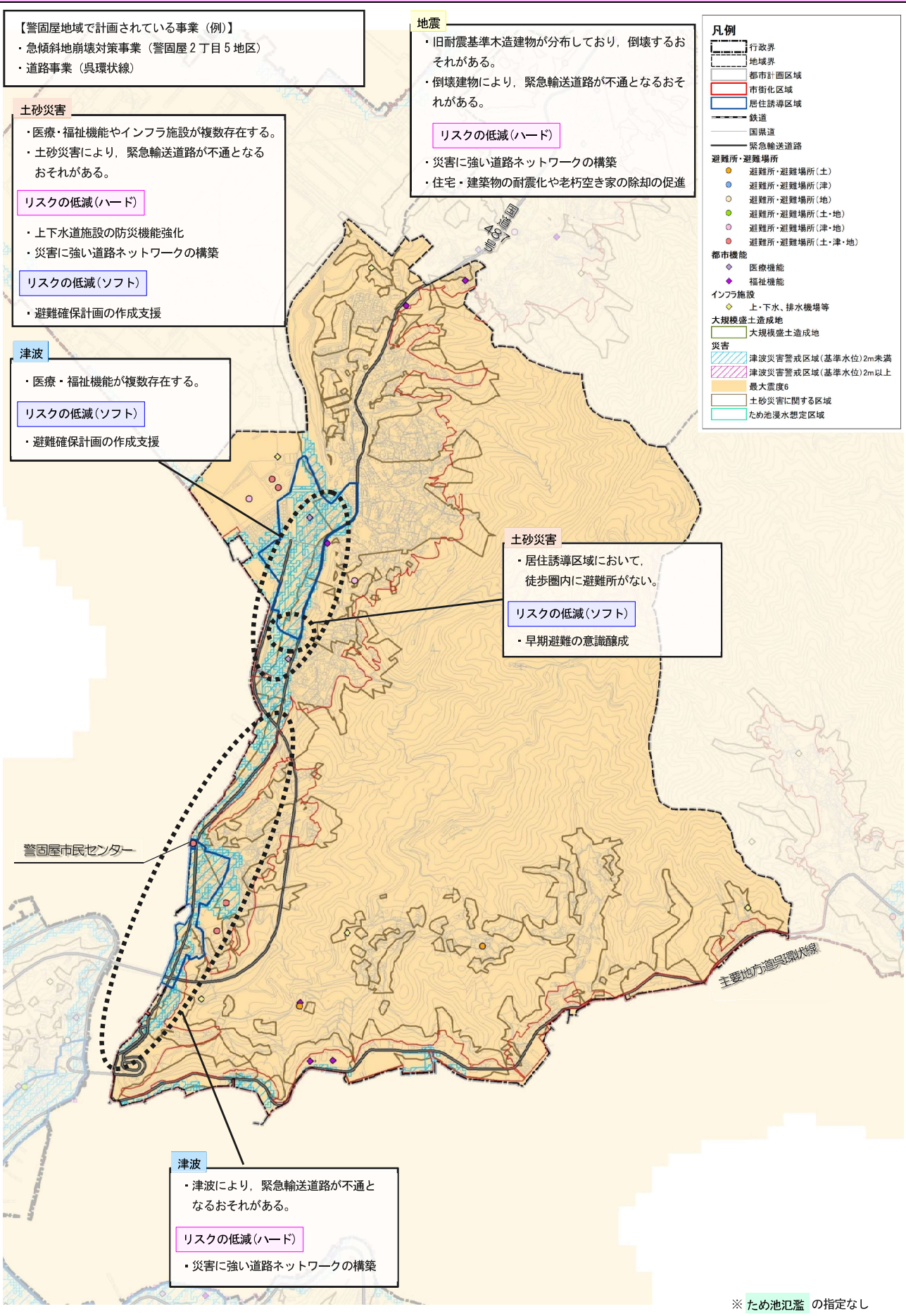
※ 津波 ため池氾濫 の指定なし

(3) 警固屋地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

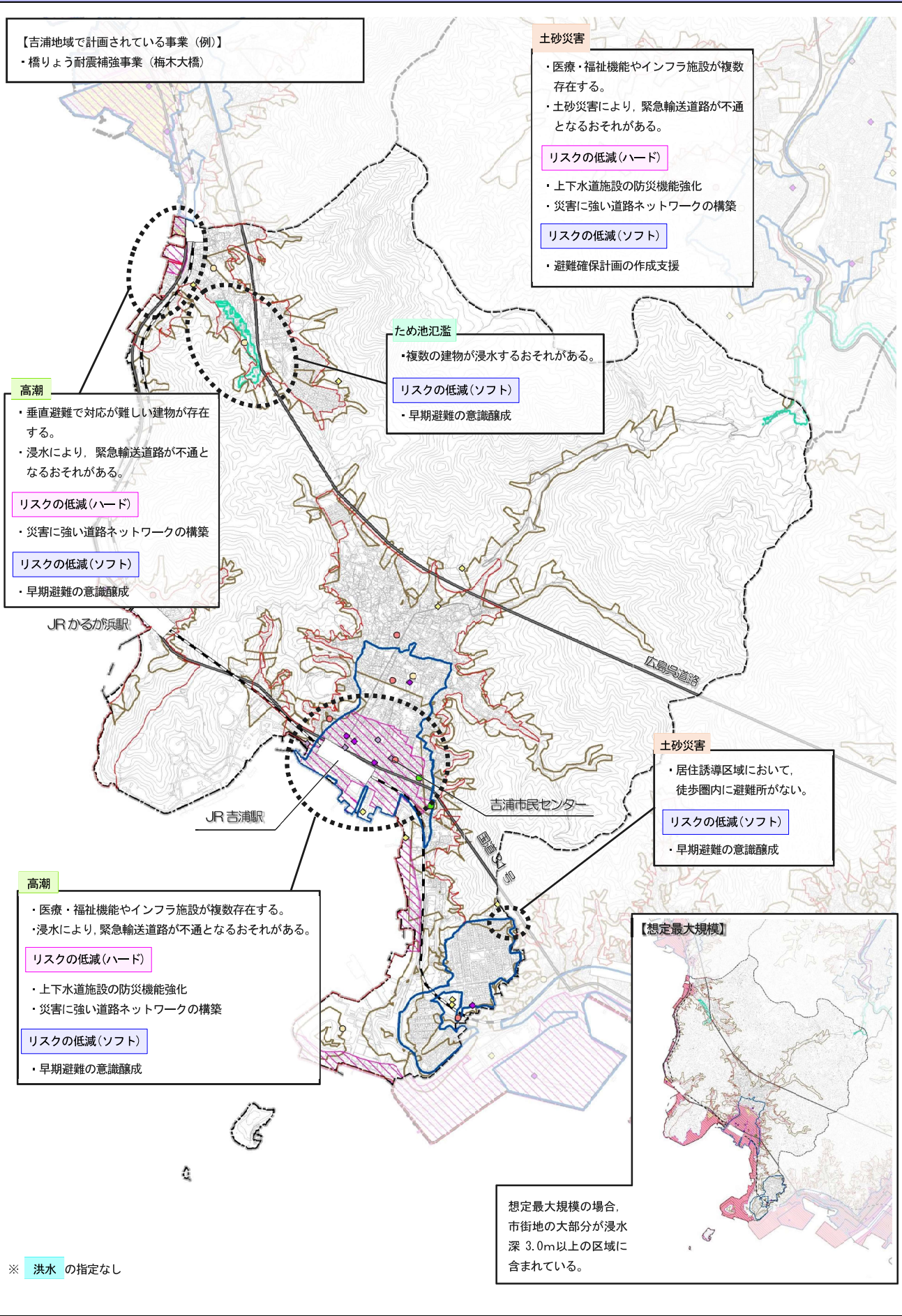


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

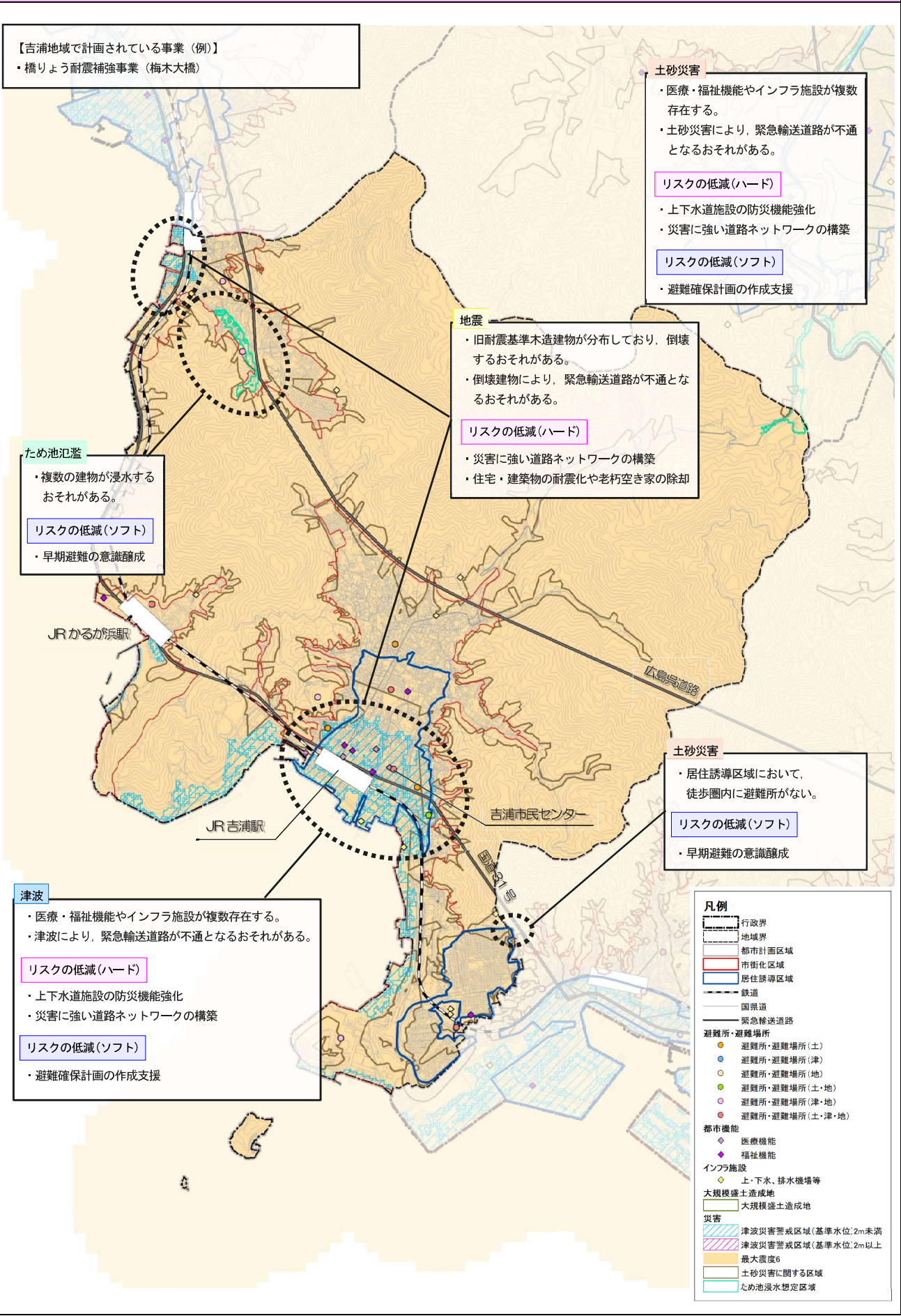


(4) 吉浦地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

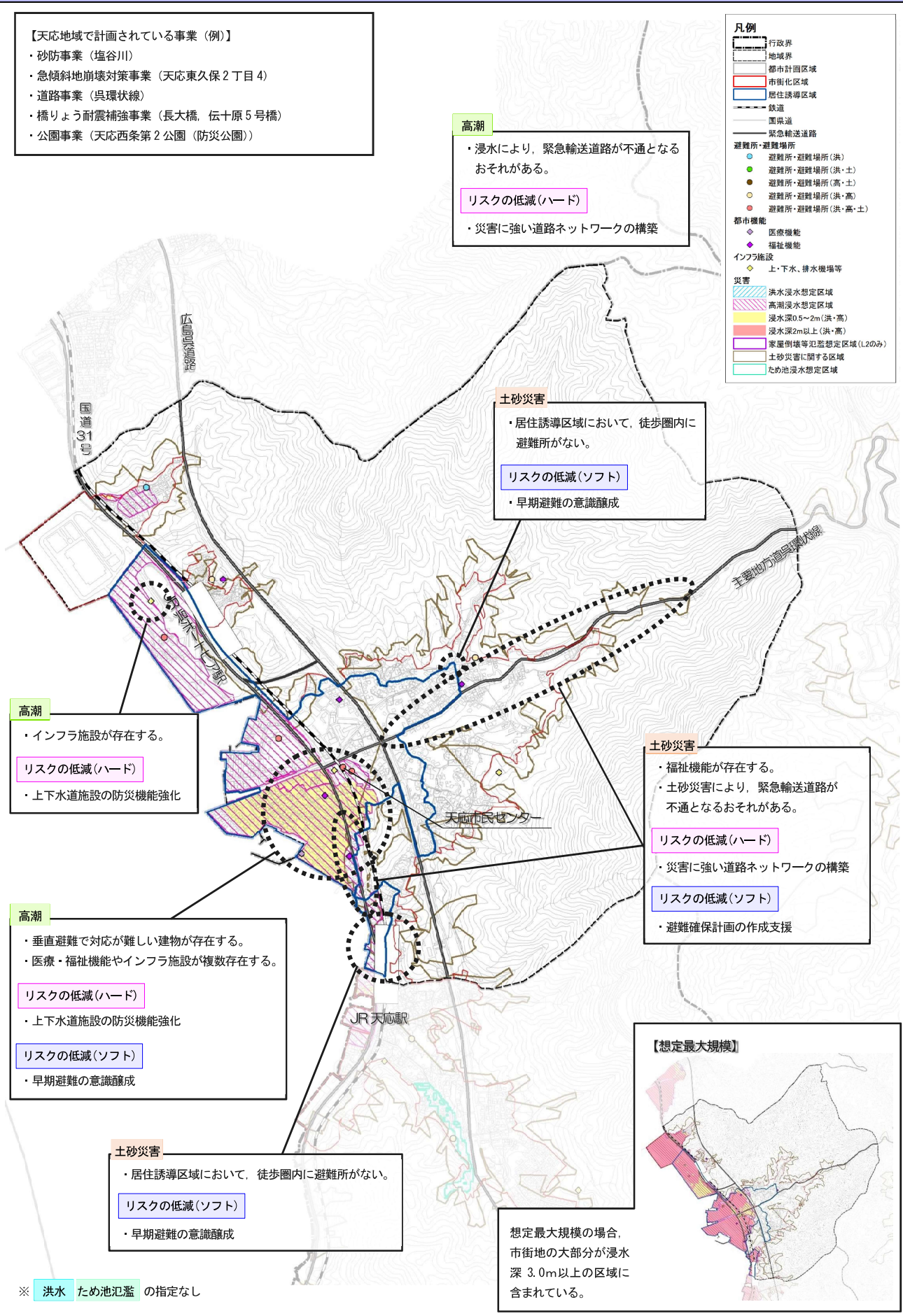


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

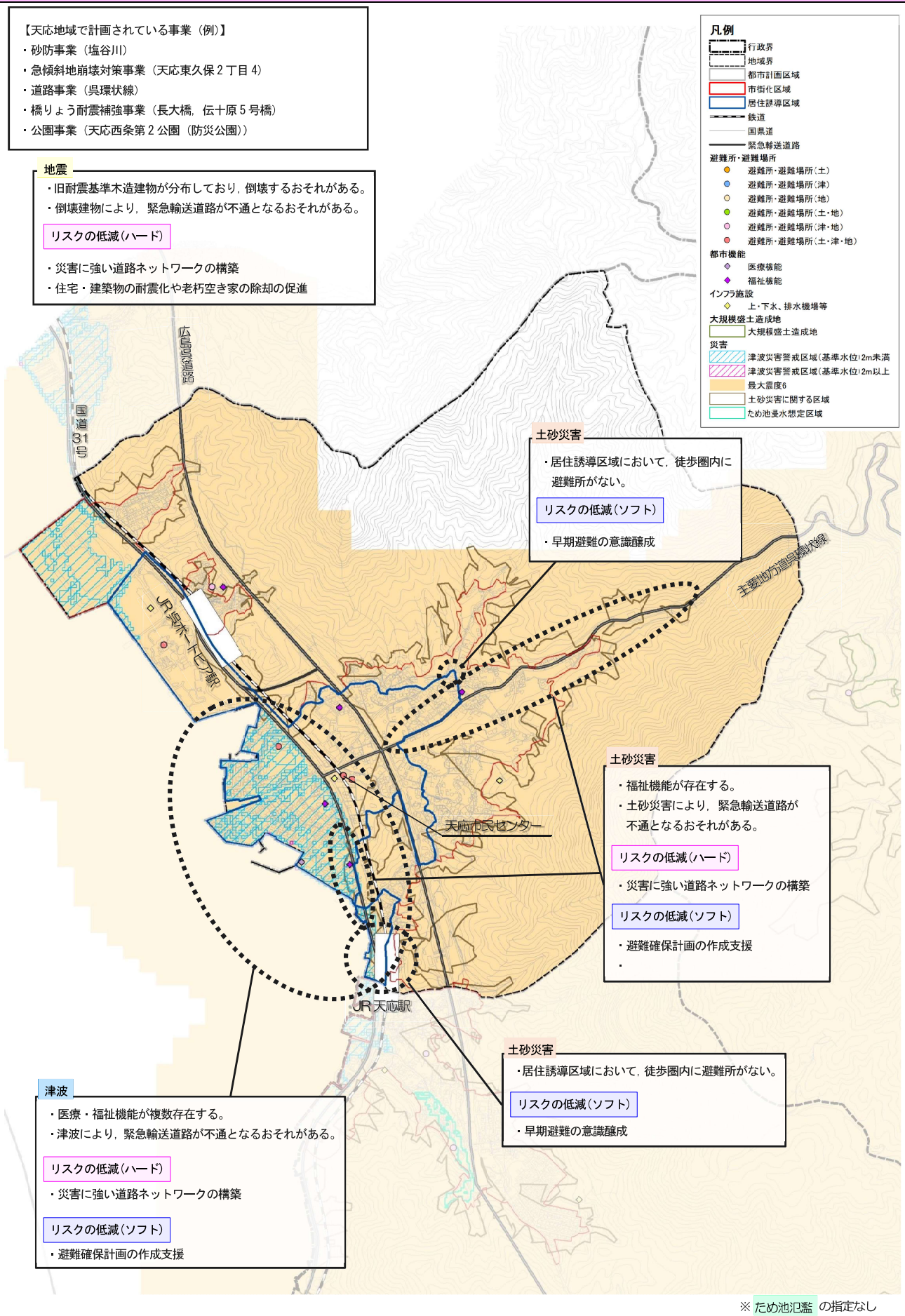


(5) 天応地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

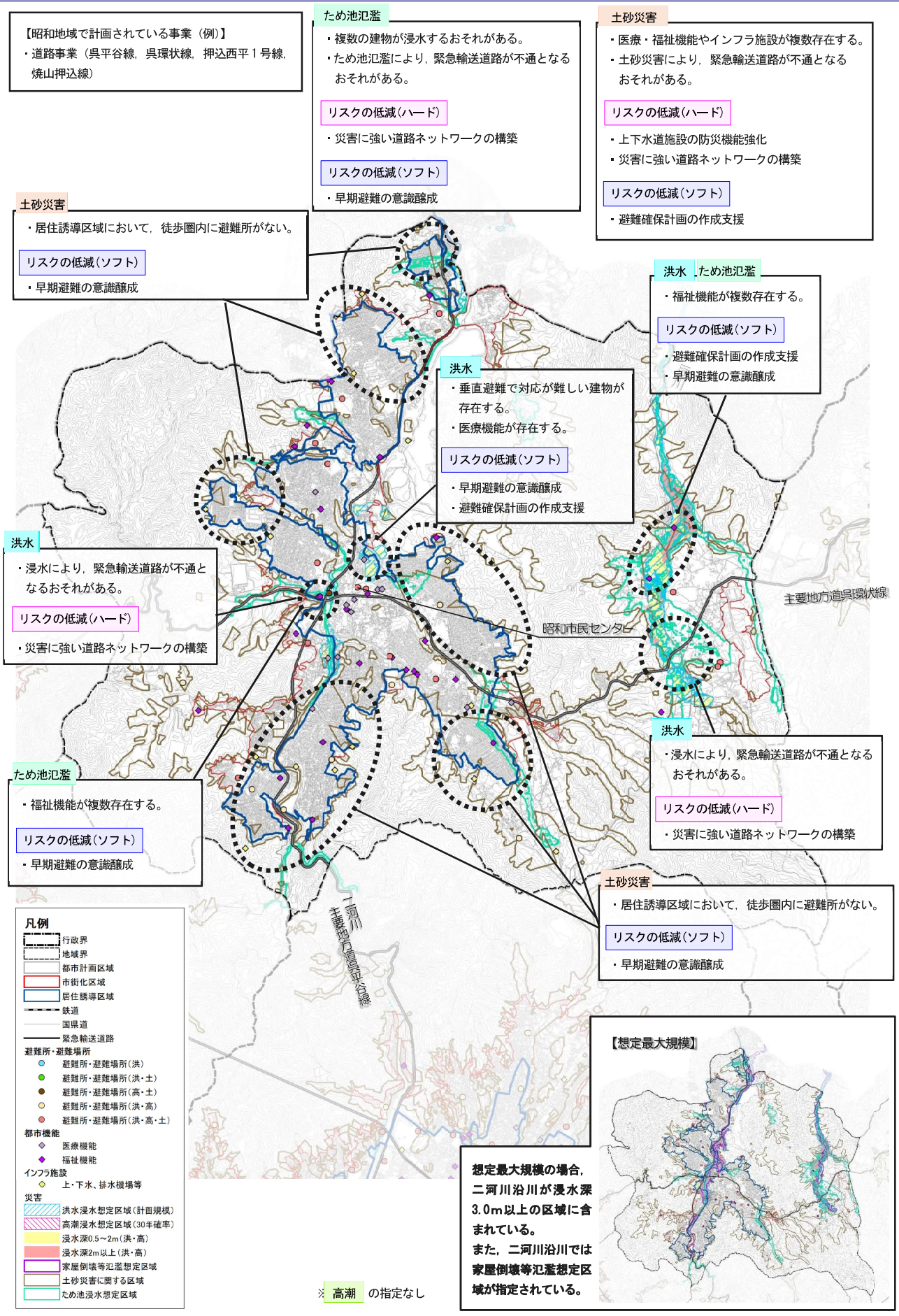


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

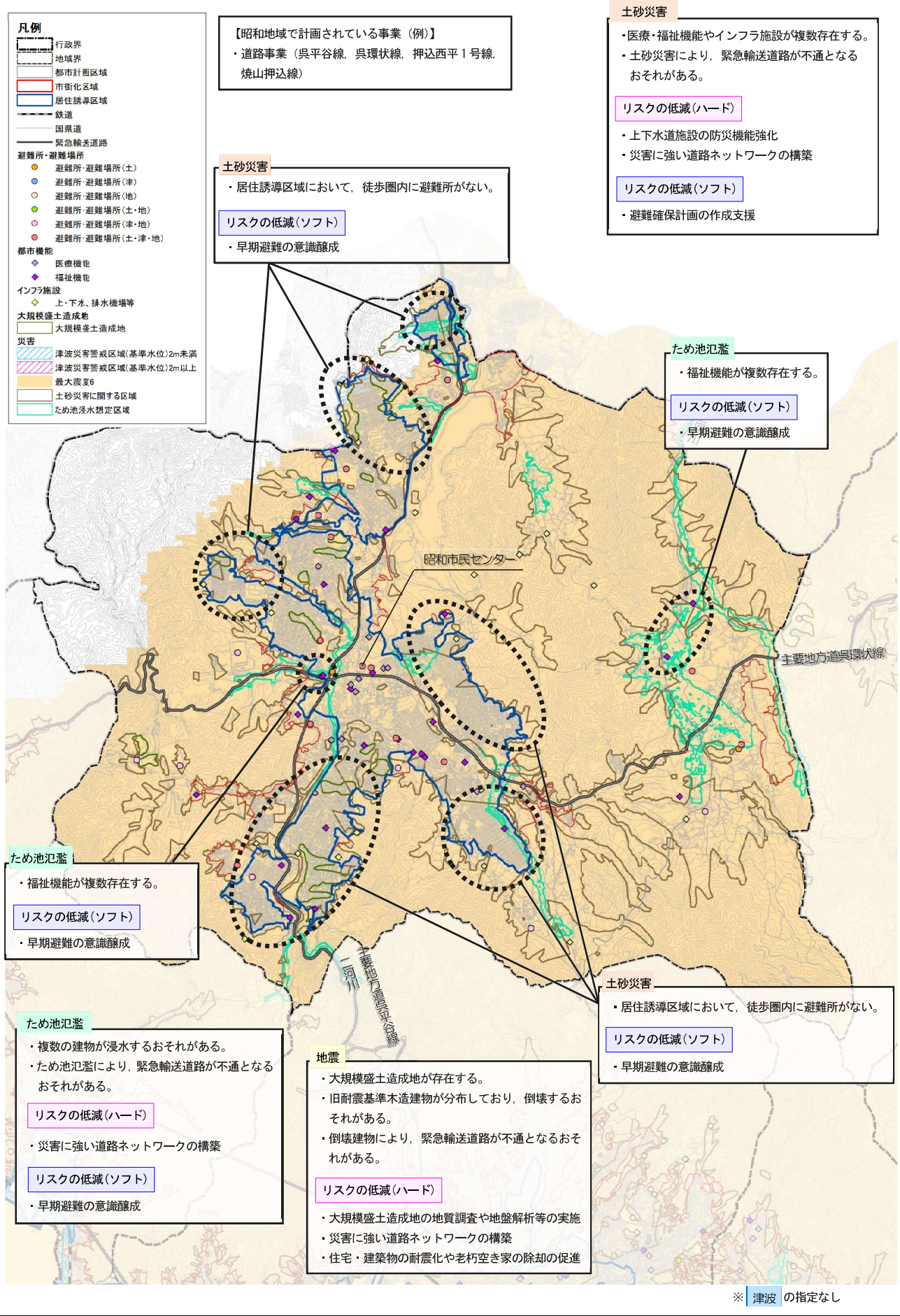


(6) 昭和地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

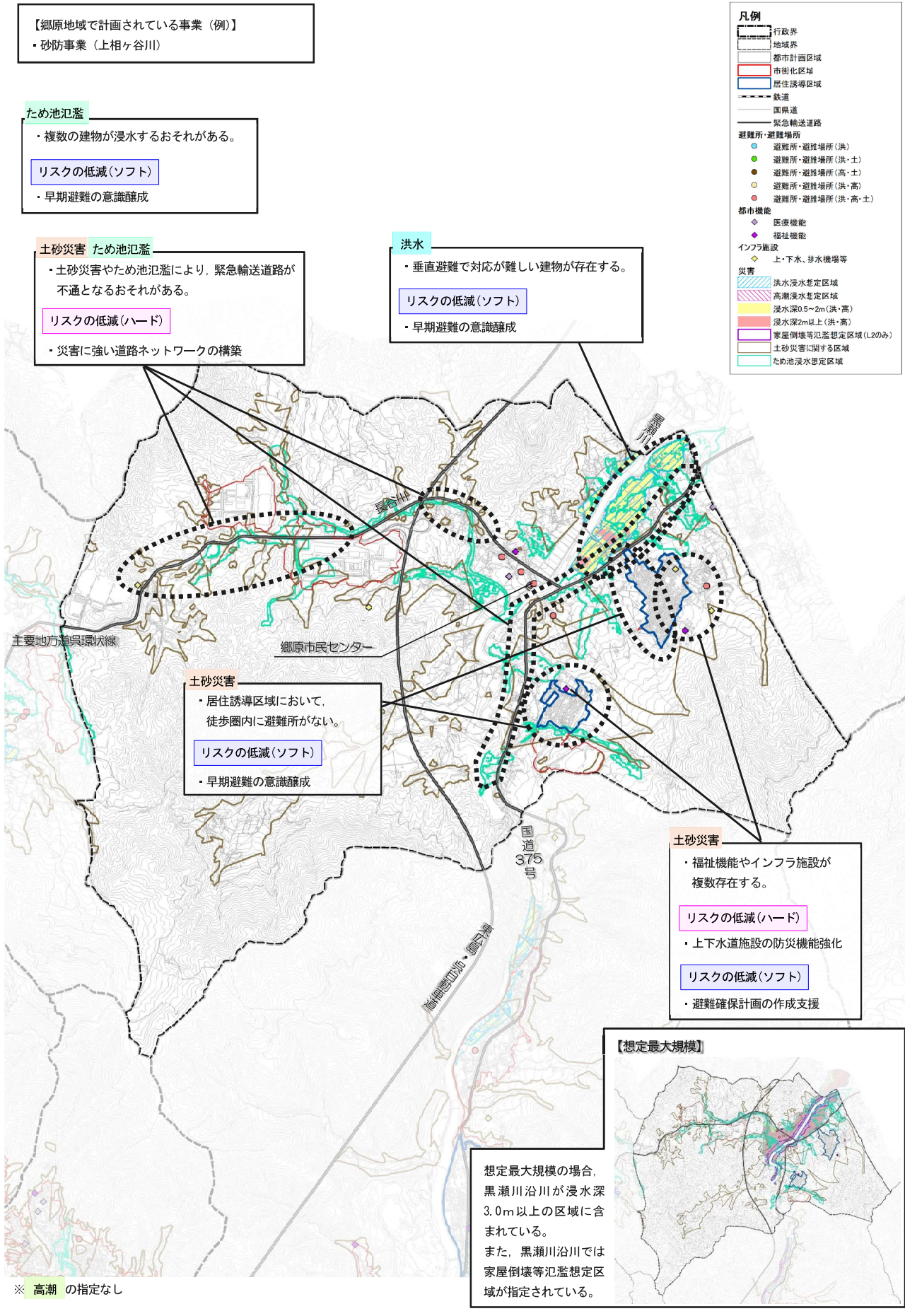


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

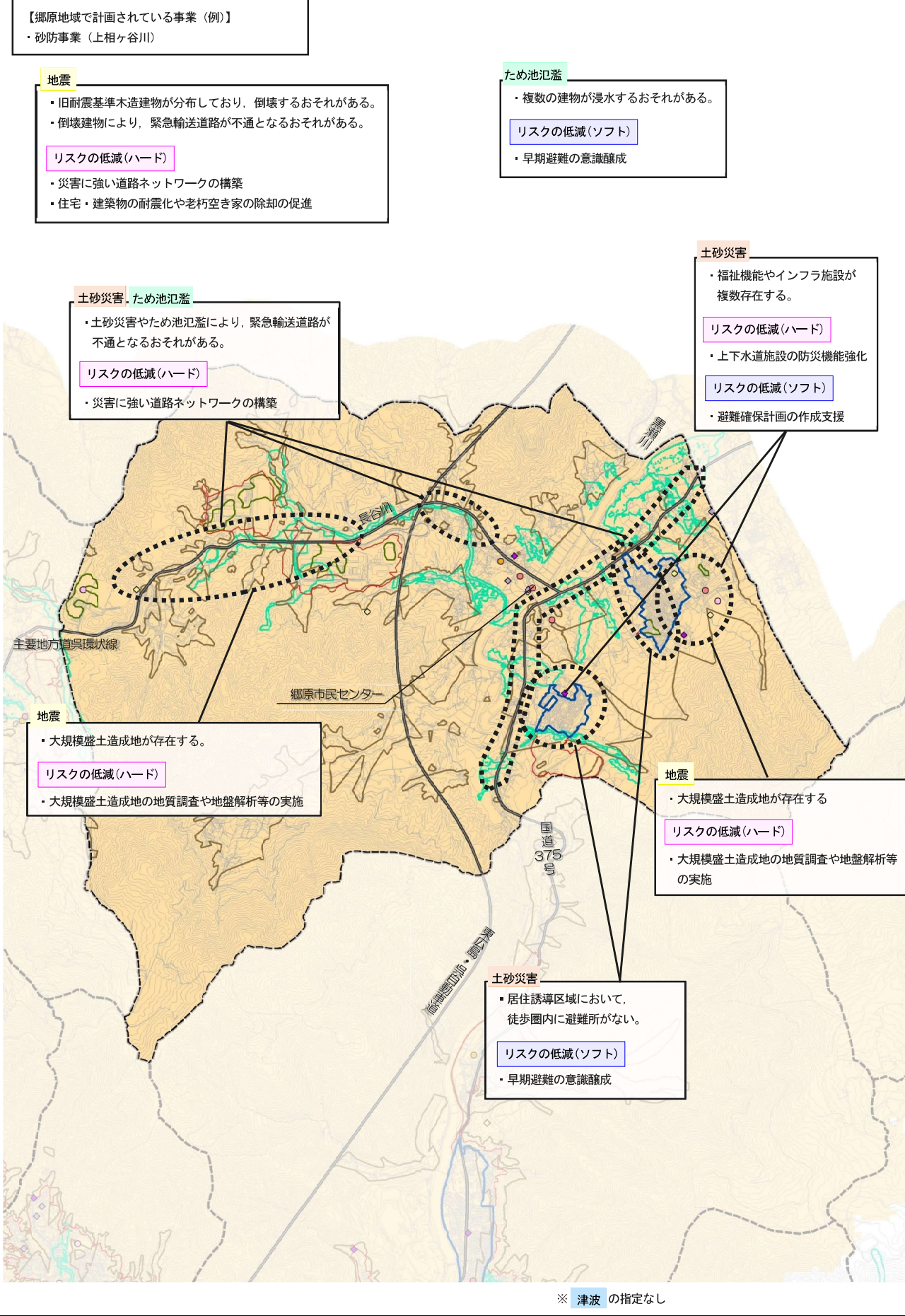


(7) 郷原地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

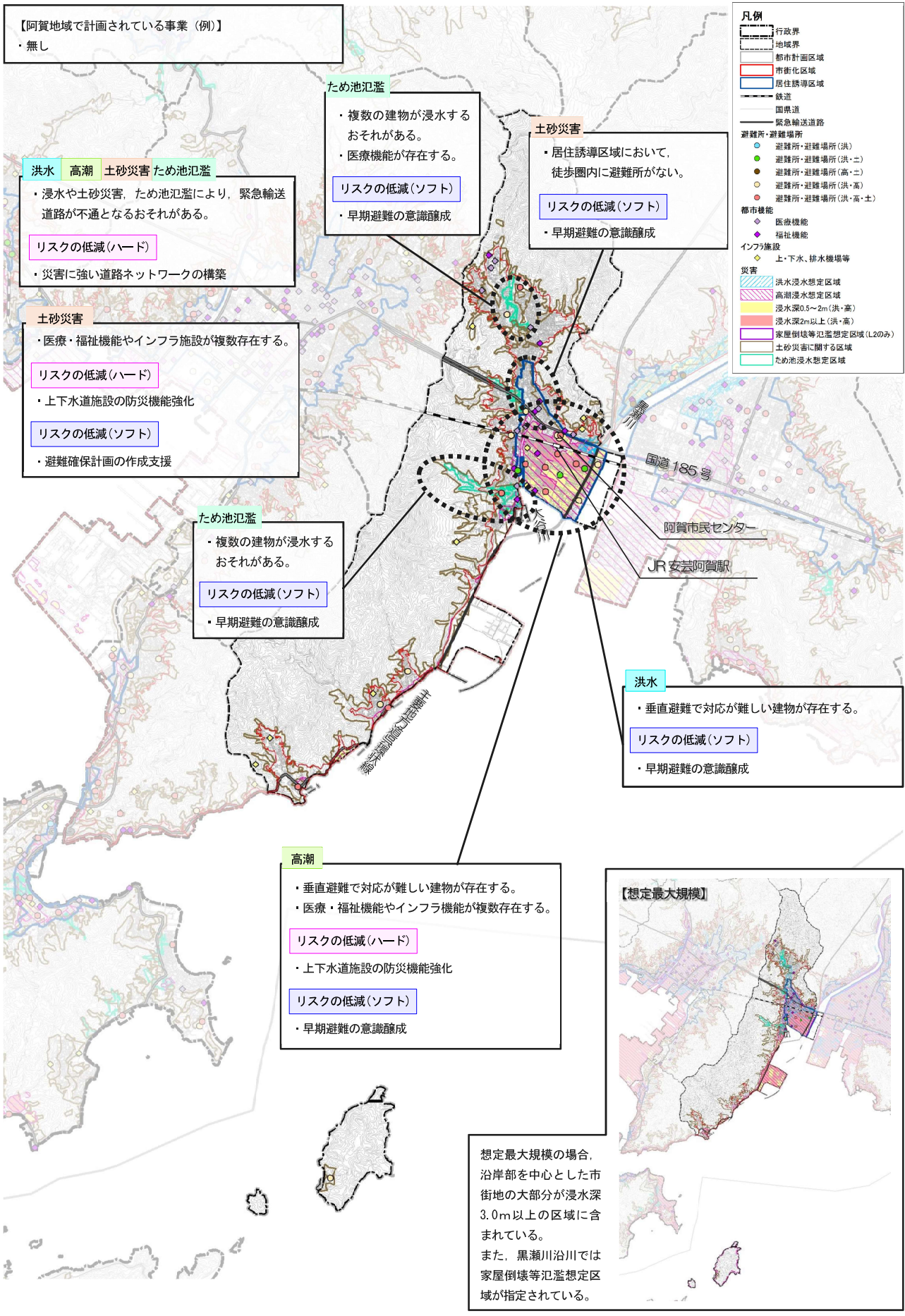


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

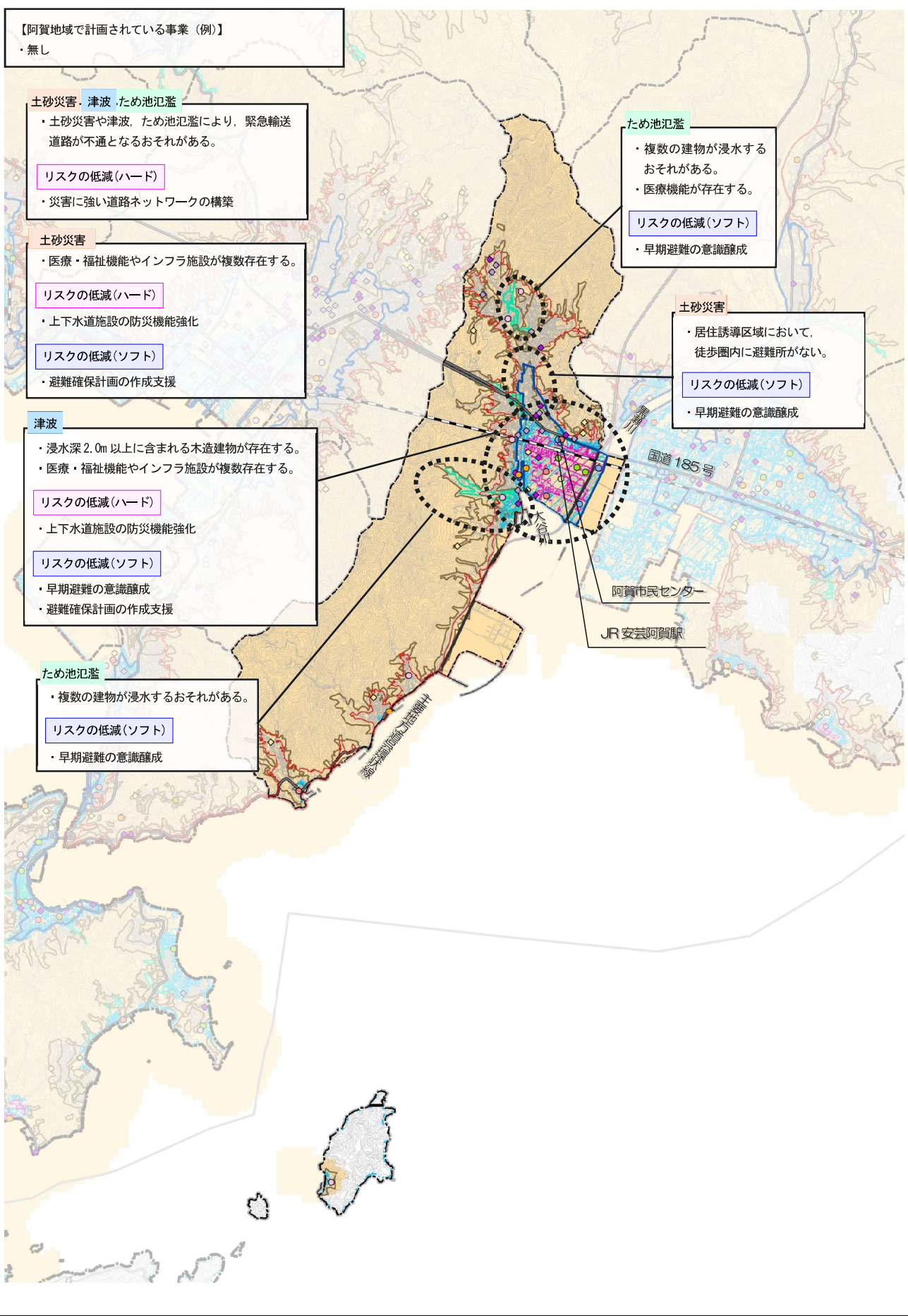


(8) 阿賀地域

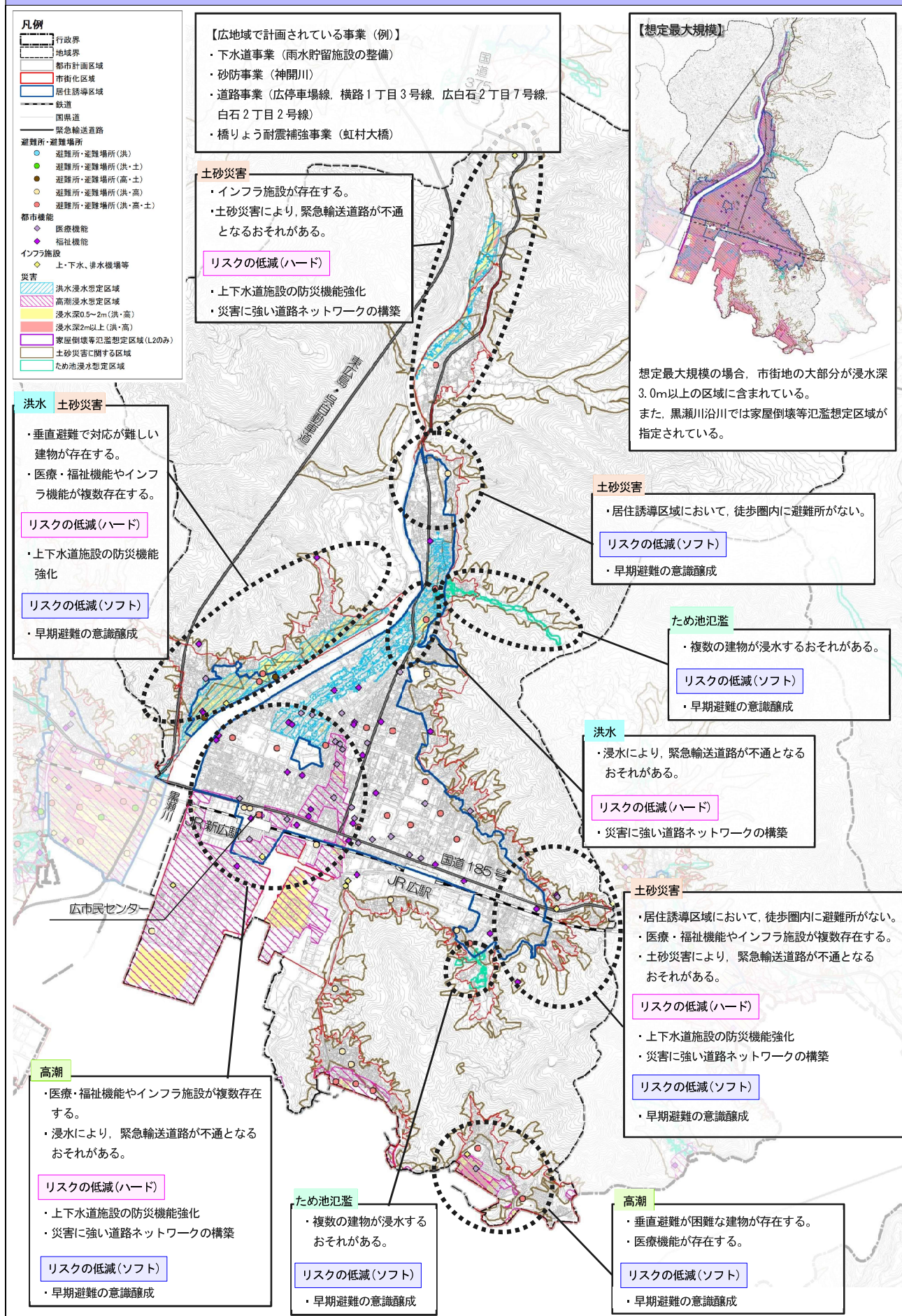
I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫



II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫



I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫



【広域で計画されている事業（例）】

- ・下水道事業（雨水貯留施設の整備）
- ・砂防事業（神開川）
- ・道路事業（広停車場線、横路1丁目3号線、広白石2丁目7号線、白石2丁目2号線）
- ・橋りょう耐震補強事業（虹村大橋）

土砂災害

- ・インフラ施設が存在する。
- ・土砂災害により、緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減（ハード）

- ・上下水道施設の防災機能強化
- ・災害に強い道路ネットワークの構築

土砂災害

- ・医療・福祉機能が複数存在する。

リスクの低減（ソフト）

- ・避難確保計画の作成支援

津波

- ・医療・福祉機能やインフラ施設が複数存在する。
- ・津波により、緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減（ハード）

- ・上下水道施設の防災機能強化
- ・災害に強い道路ネットワークの構築

リスクの低減（ソフト）

- ・避難確保計画の作成支援

地震

- ・旧耐震基準木造建物が分布しており、倒壊するおそれがある。
- ・倒壊建物により、緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減（ハード）

- ・災害に強い道路ネットワークの構築
- ・住宅・建築物の耐震化や老朽空き家の除却の促進

土砂災害

- ・居住誘導区域において、徒歩圏内に避難所がない。

リスクの低減（ソフト）

- ・早期避難の意識醸成

ため池氾濫

- ・複数の建物が浸水するおそれがある。

リスクの低減（ソフト）

- ・早期避難の意識醸成

土砂災害

- ・居住誘導区域において、徒歩圏内に避難所がない。
- ・医療・福祉機能やインフラ施設が複数存在する。
- ・土砂災害により、緊急輸送道路が不通となるおそれがある。

リスクの低減（ハード）

- ・上下水道施設の防災機能強化
- ・災害に強い道路ネットワークの構築

リスクの低減（ソフト）

- ・早期避難の意識醸成

ため池氾濫

- ・複数の建物が浸水するおそれがある。

リスクの低減（ソフト）

- ・早期避難の意識醸成

津波

- ・居住誘導区域において、徒歩圏内に避難所がない。

リスクの低減（ソフト）

- ・早期避難の意識醸成

津波

- ・浸水深 2.0m 以上に含まれる木造建物が存在する。

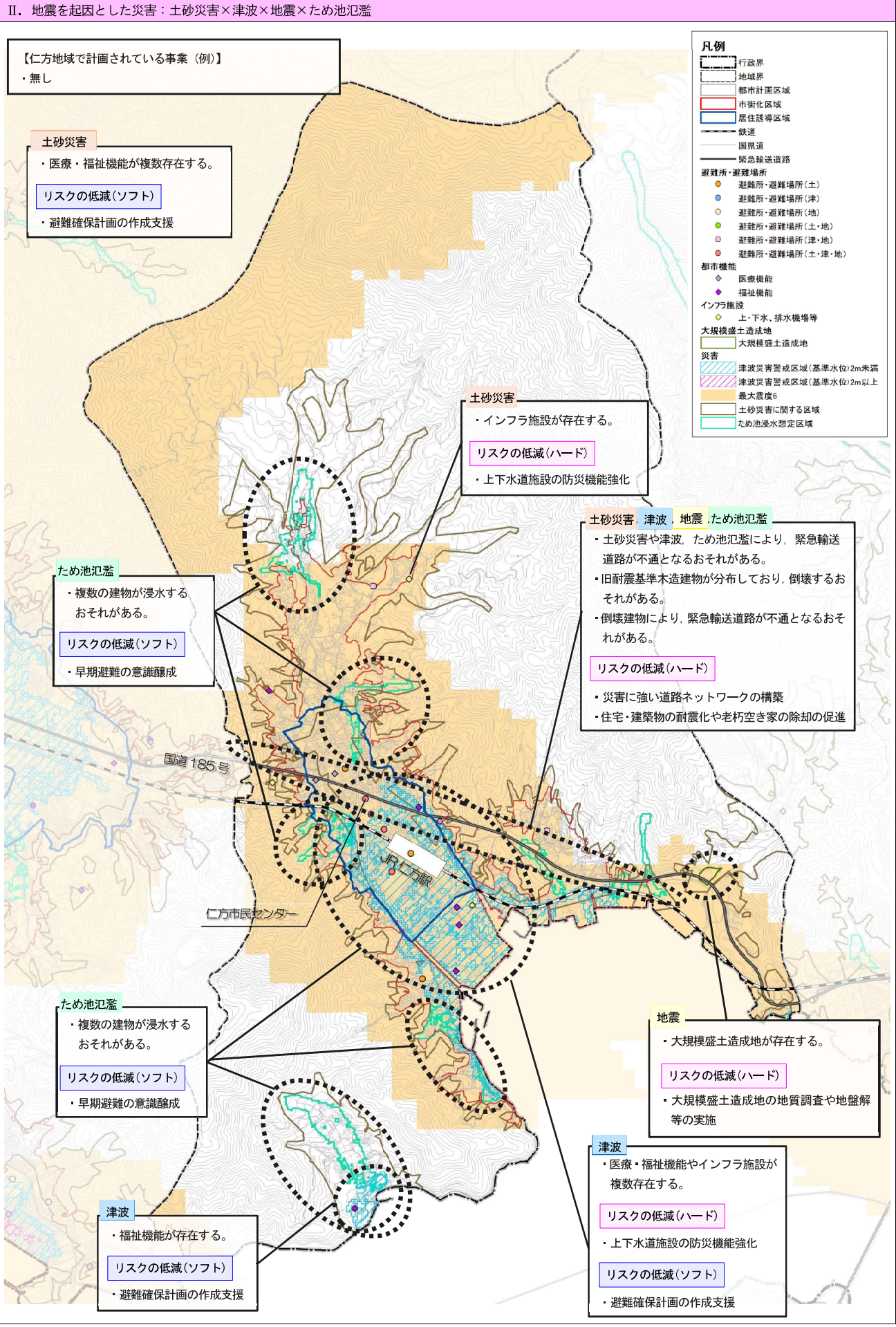
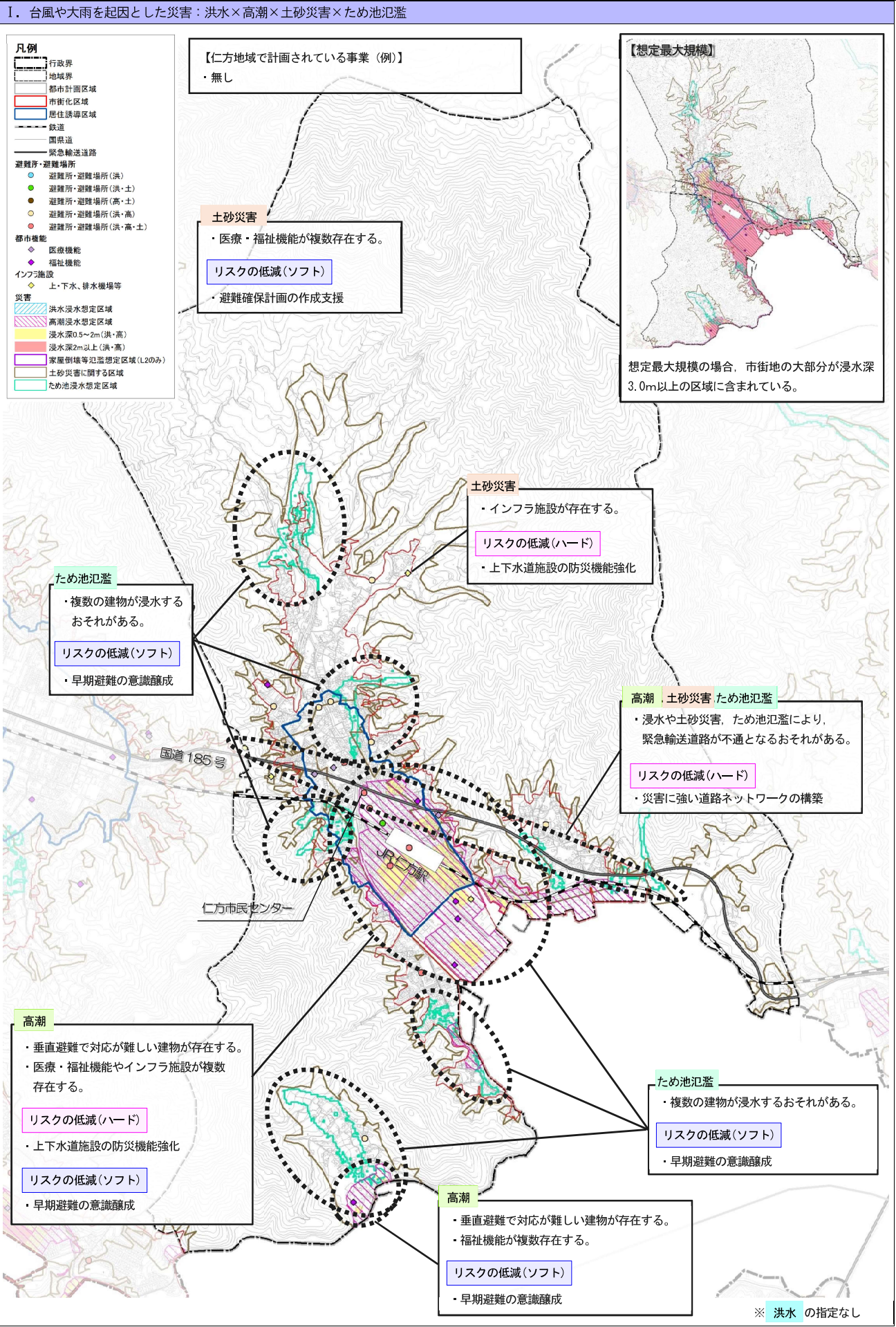
リスクの低減（ソフト）

- ・早期避難の意識醸成

凡例

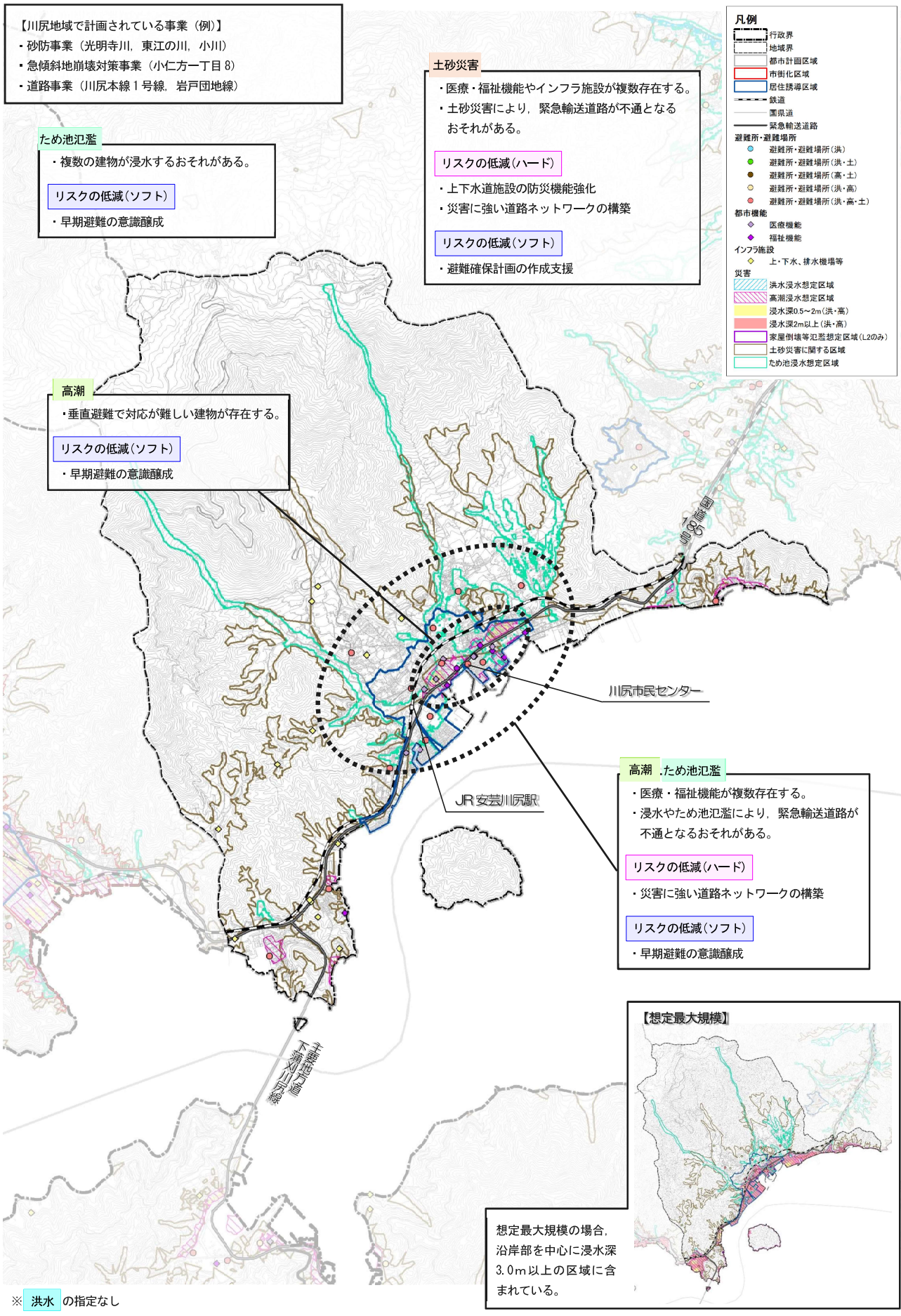
- 行政界
- 地域界
- 都市計画区域
- 市街化区域
- 居住誘導区域
- 鉄道
- 国県道
- 緊急輸送道路
- 避難所・避難場所
 - 避難所・避難場所（土）
 - 避難所・避難場所（津）
 - 避難所・避難場所（地）
 - 避難所・避難場所（土・地）
 - 避難所・避難場所（津・地）
 - 避難所・避難場所（土・津・地）
- 都市機能
 - 医療機能
 - 福祉機能
- インフラ施設
 - 上・下水、排水機場等
- 大規模盛土造成地
- 大規模盛土造成地
- 災害
 - 津波災害警戒区域（基準水位2m未満）
 - 津波災害警戒区域（基準水位2m以上）
 - 最大浸水深
 - 土砂災害に関する区域
 - ため池浸水想定区域

(10) 仁方地域

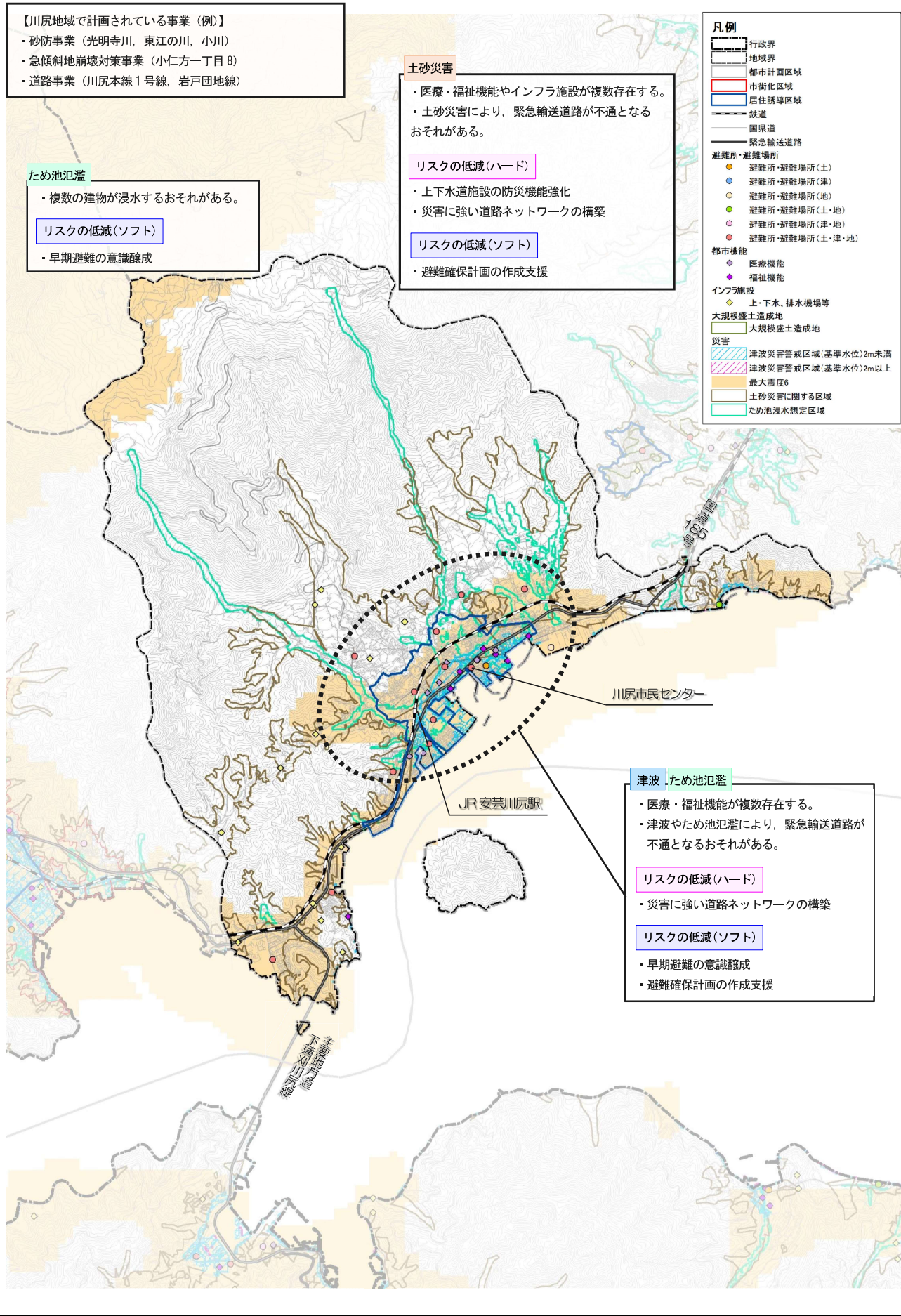


(11) 川尻地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

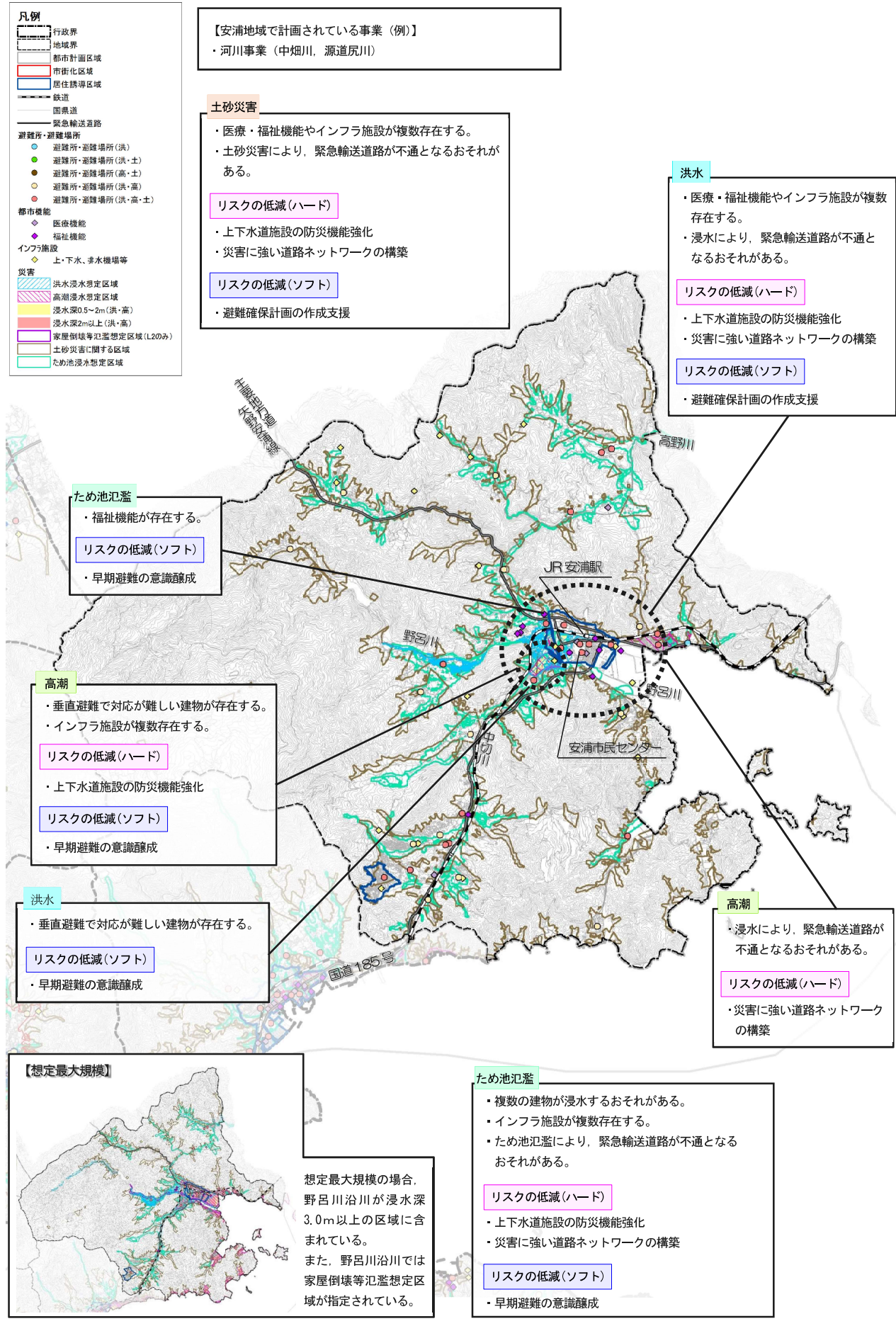


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

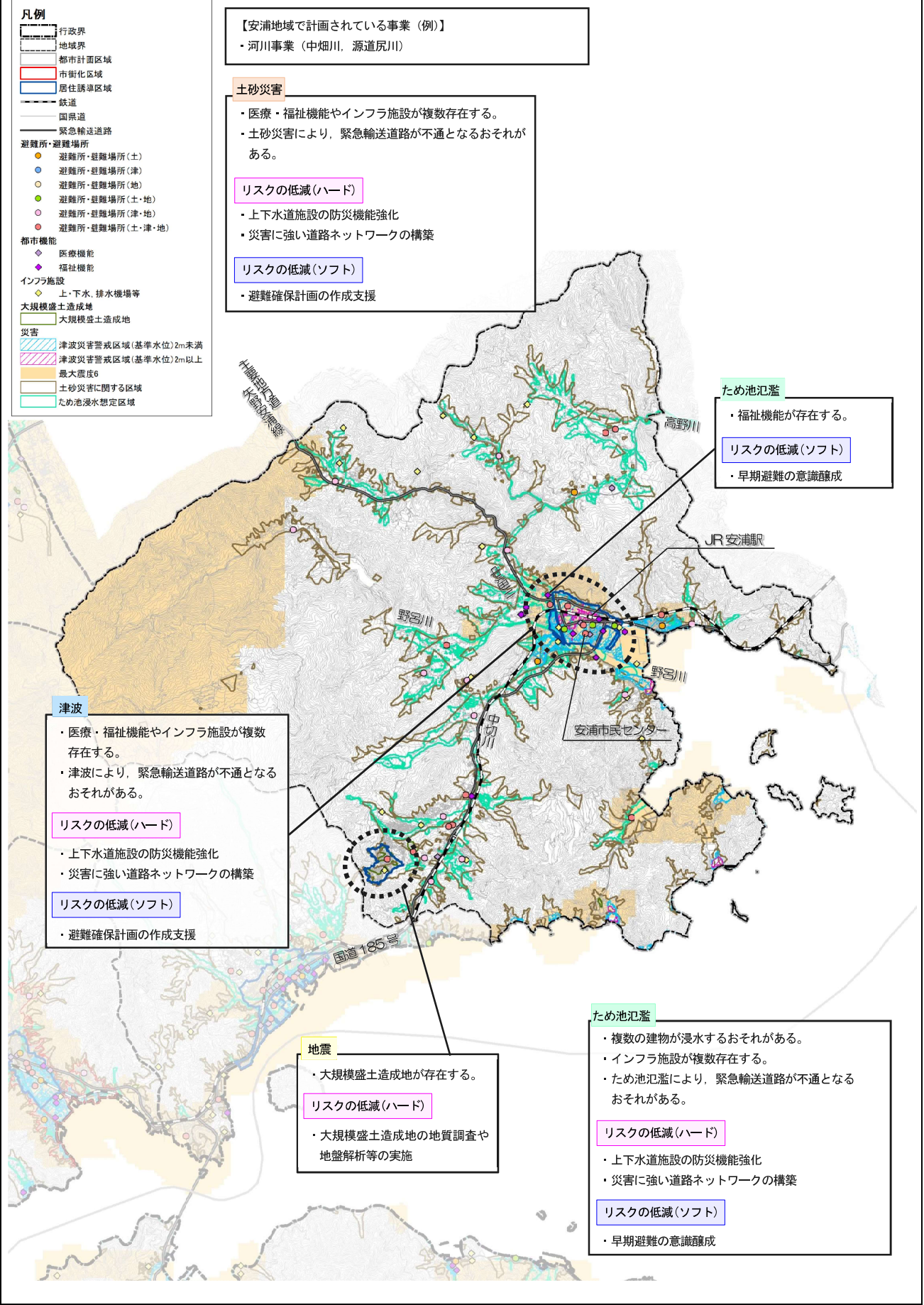


(12) 安浦地域

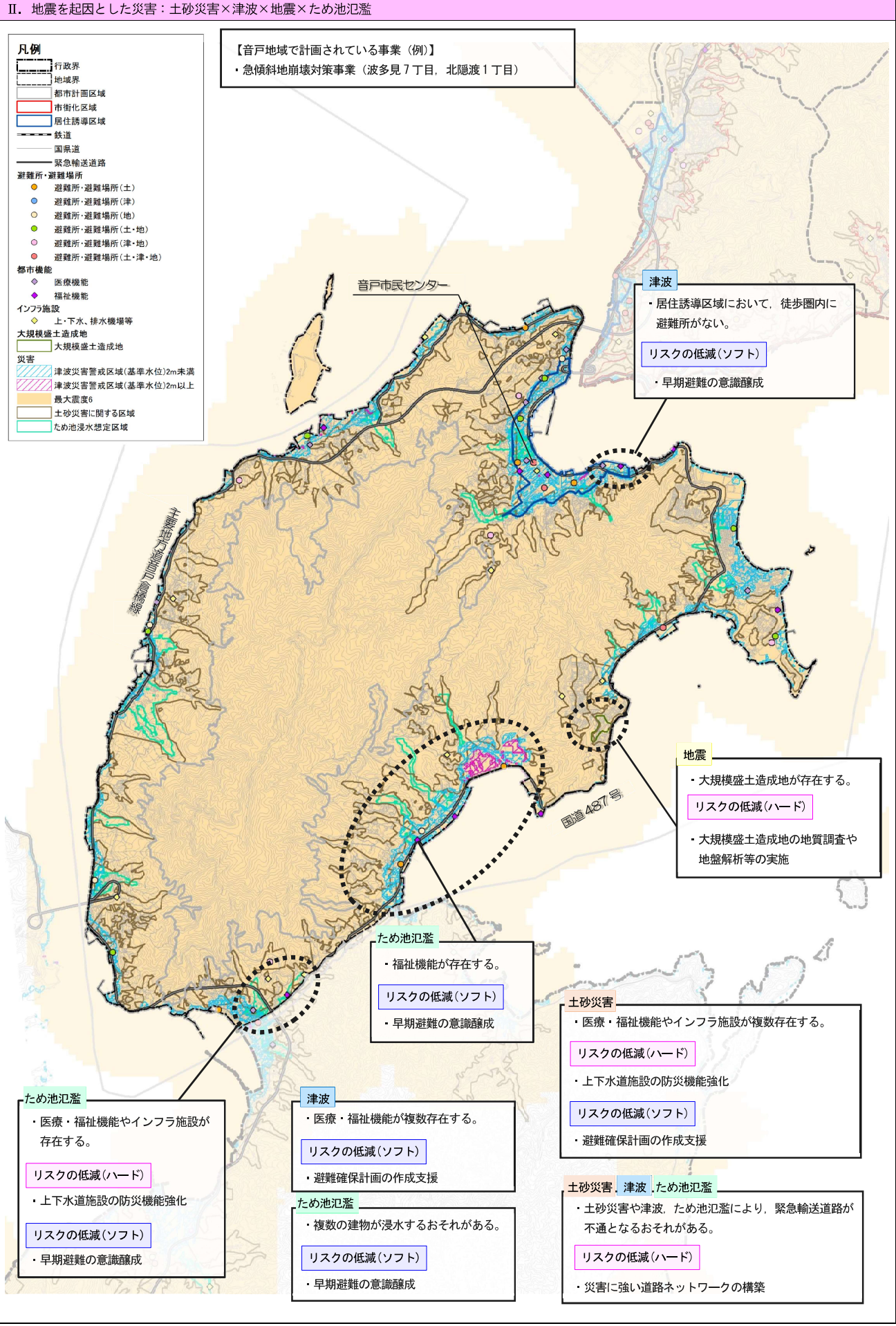
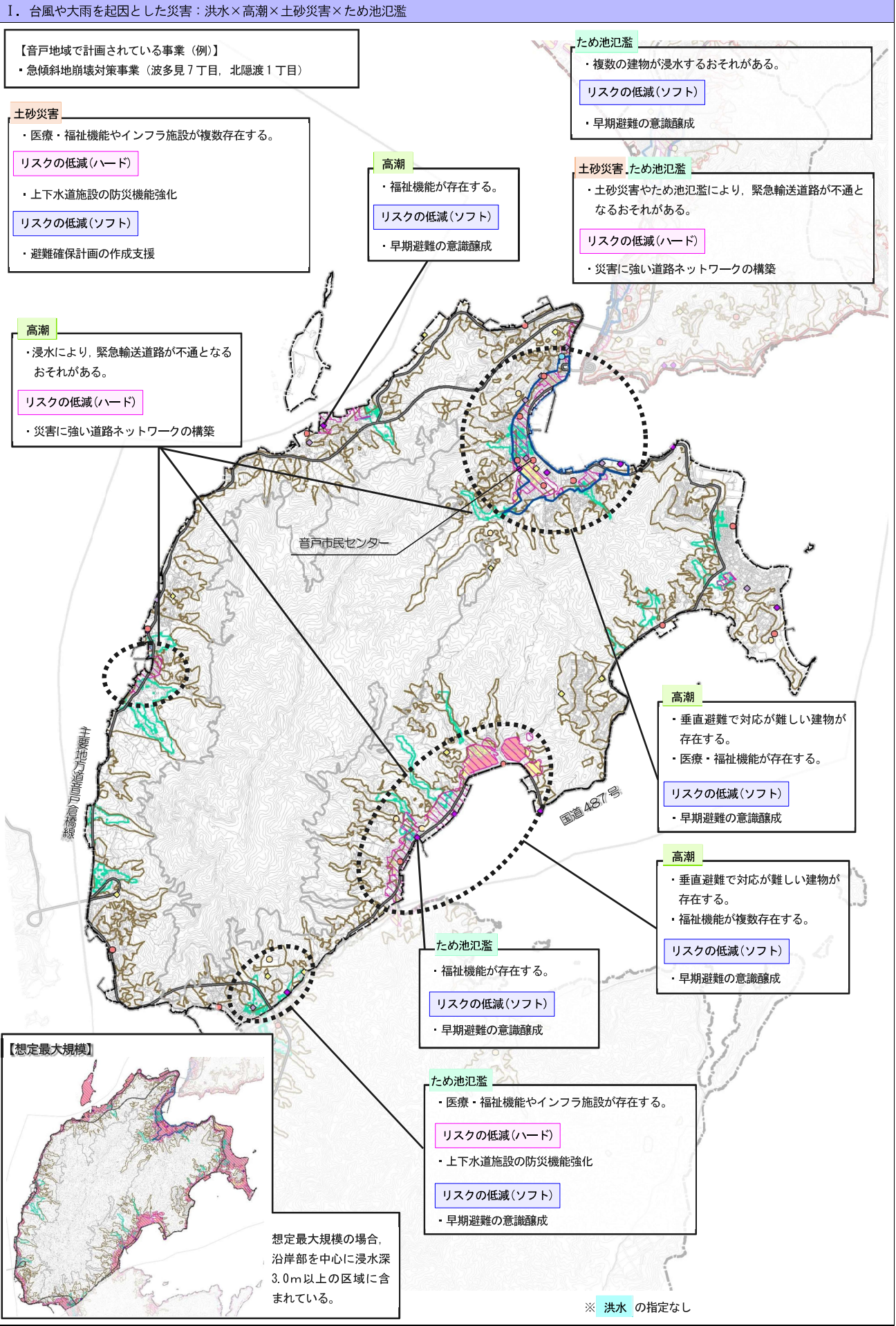
I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫



II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

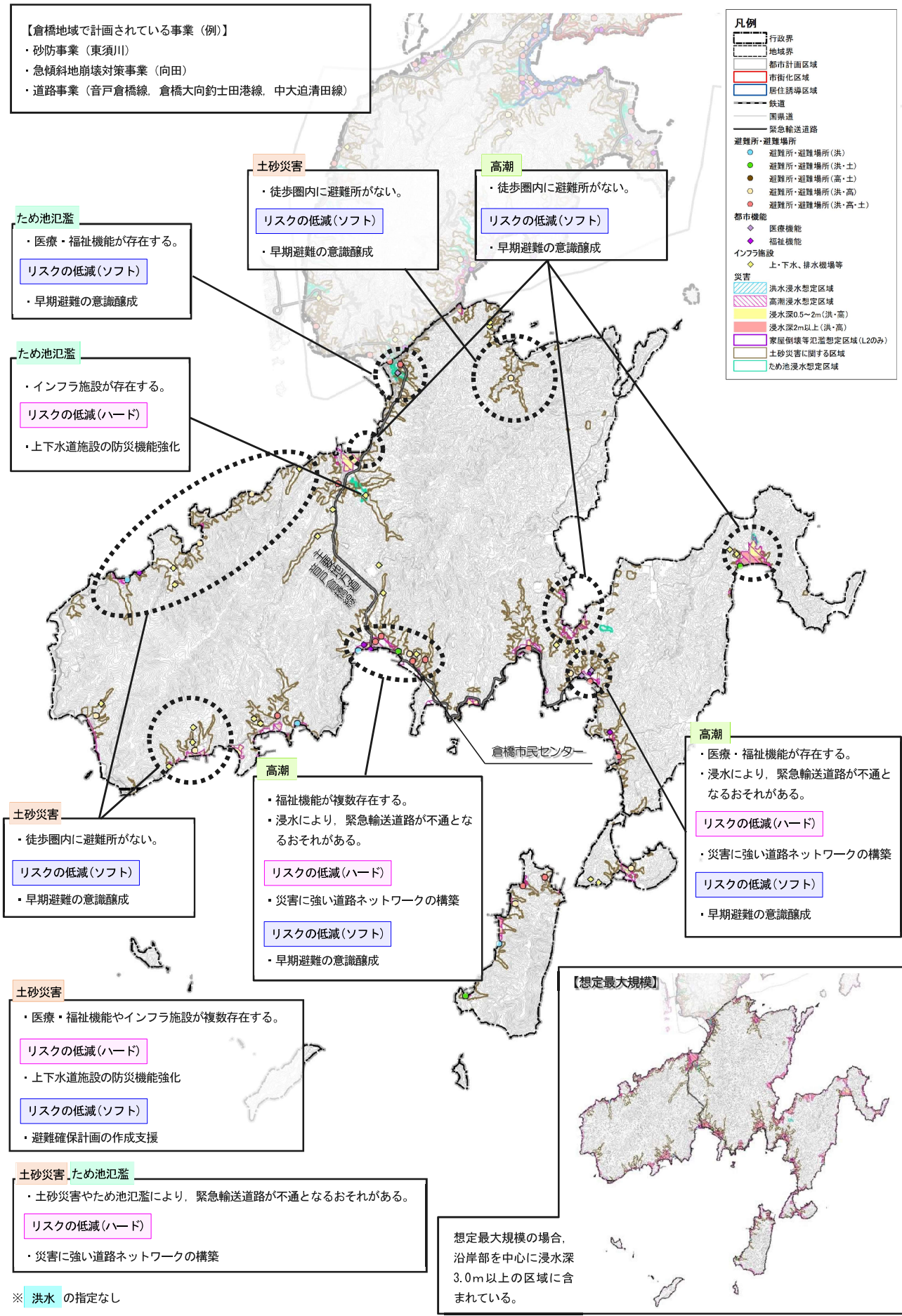


(13) 音戸地域

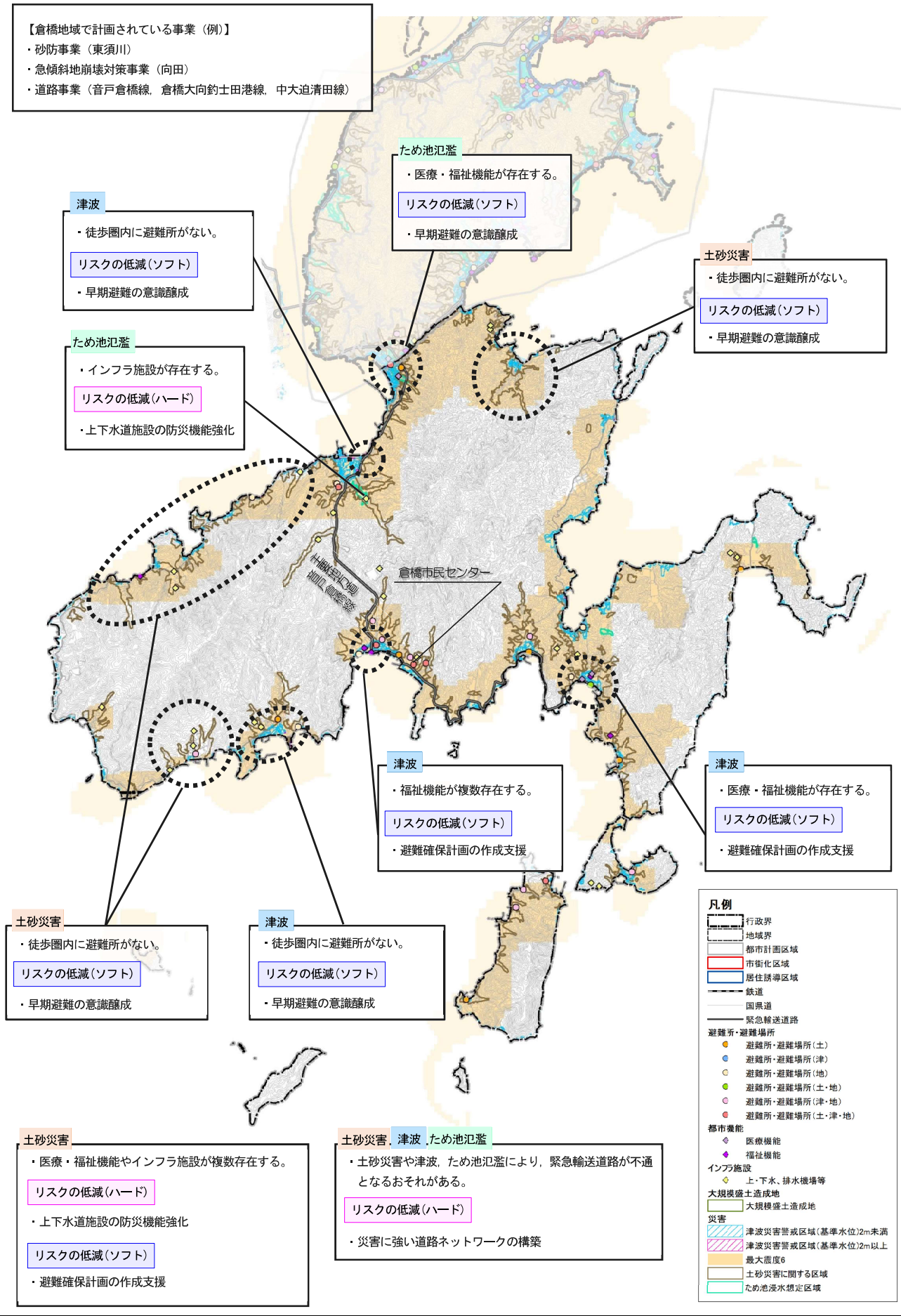


(14) 倉橋地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

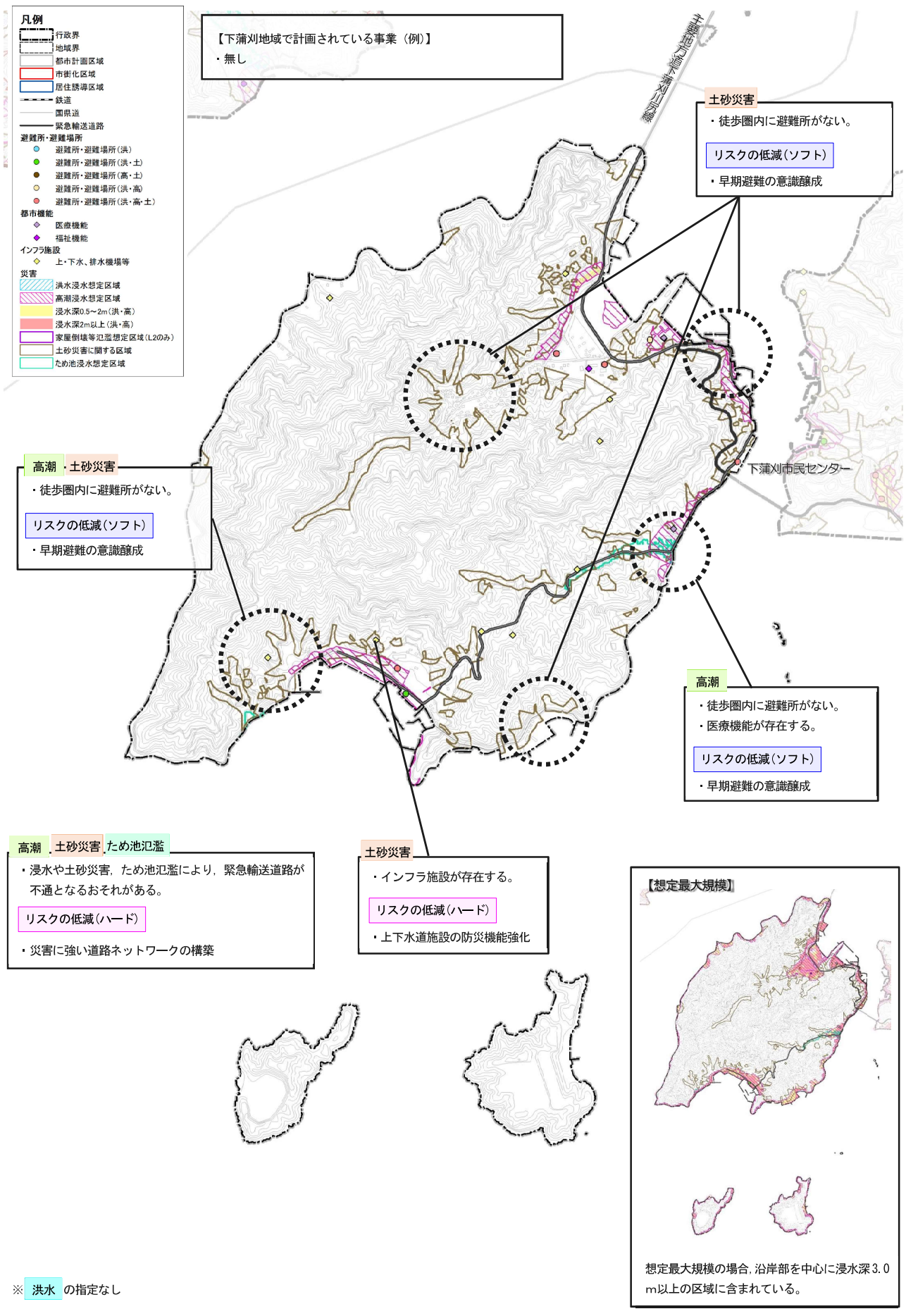


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

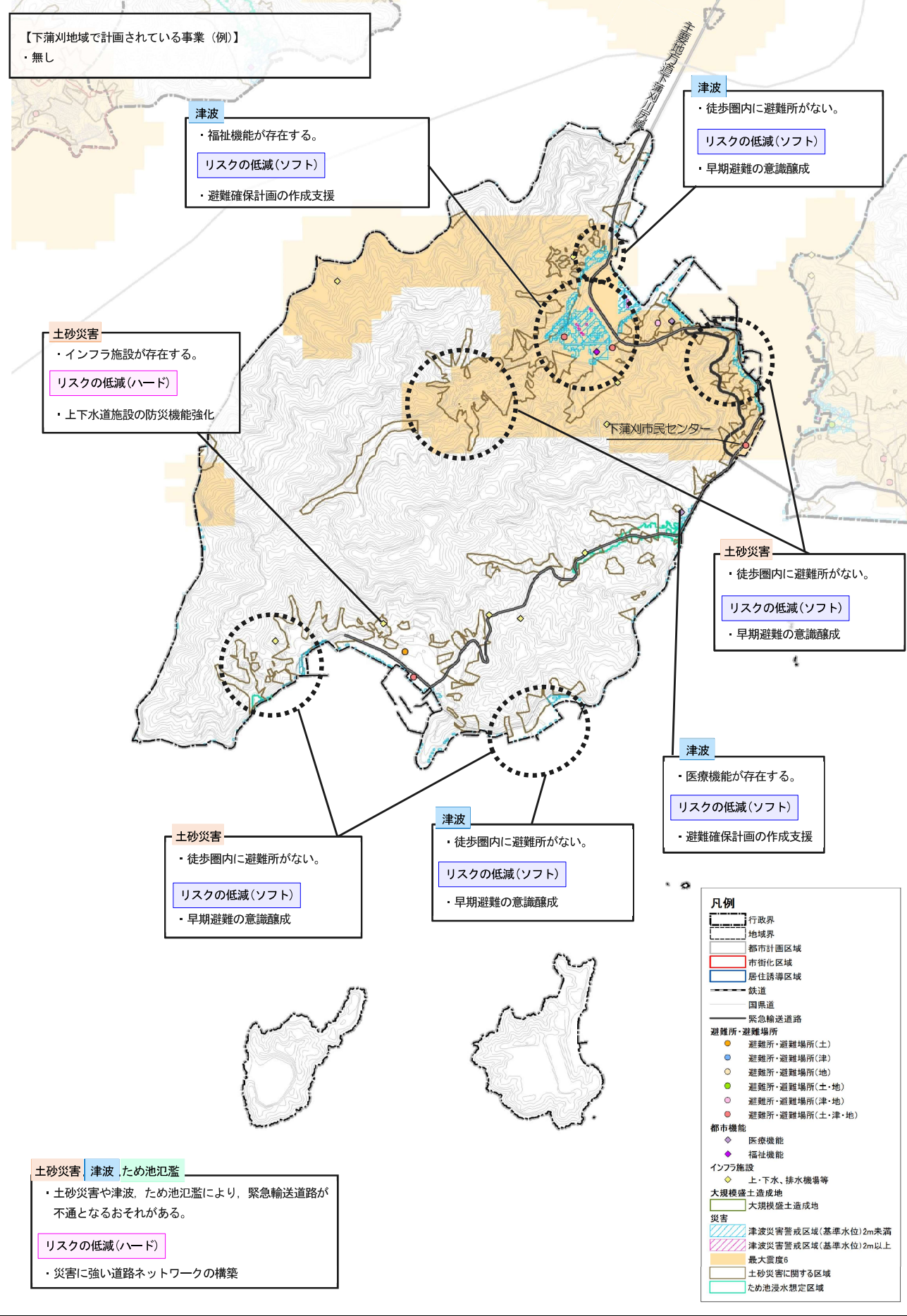


(15) 下蒲刈地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

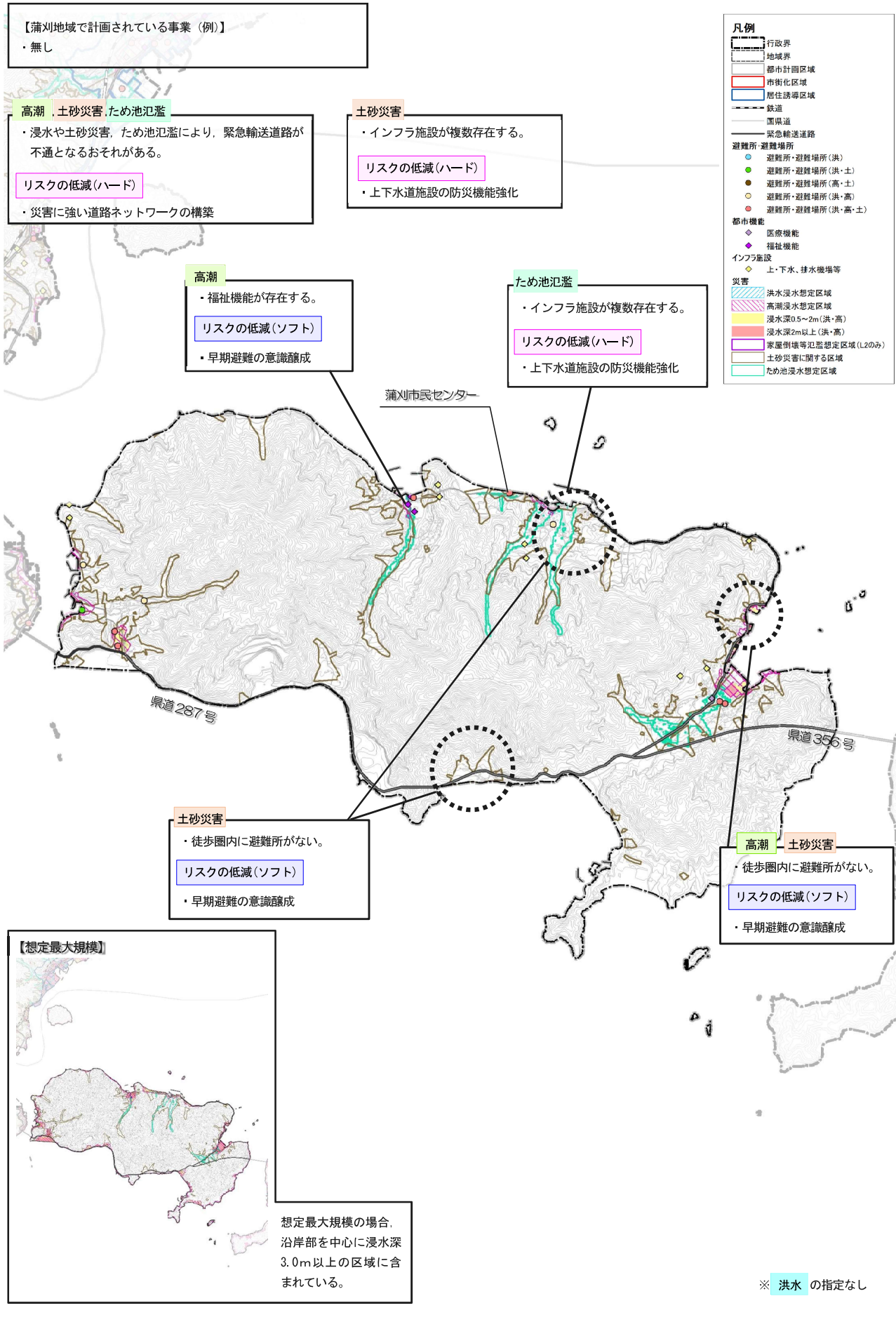


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

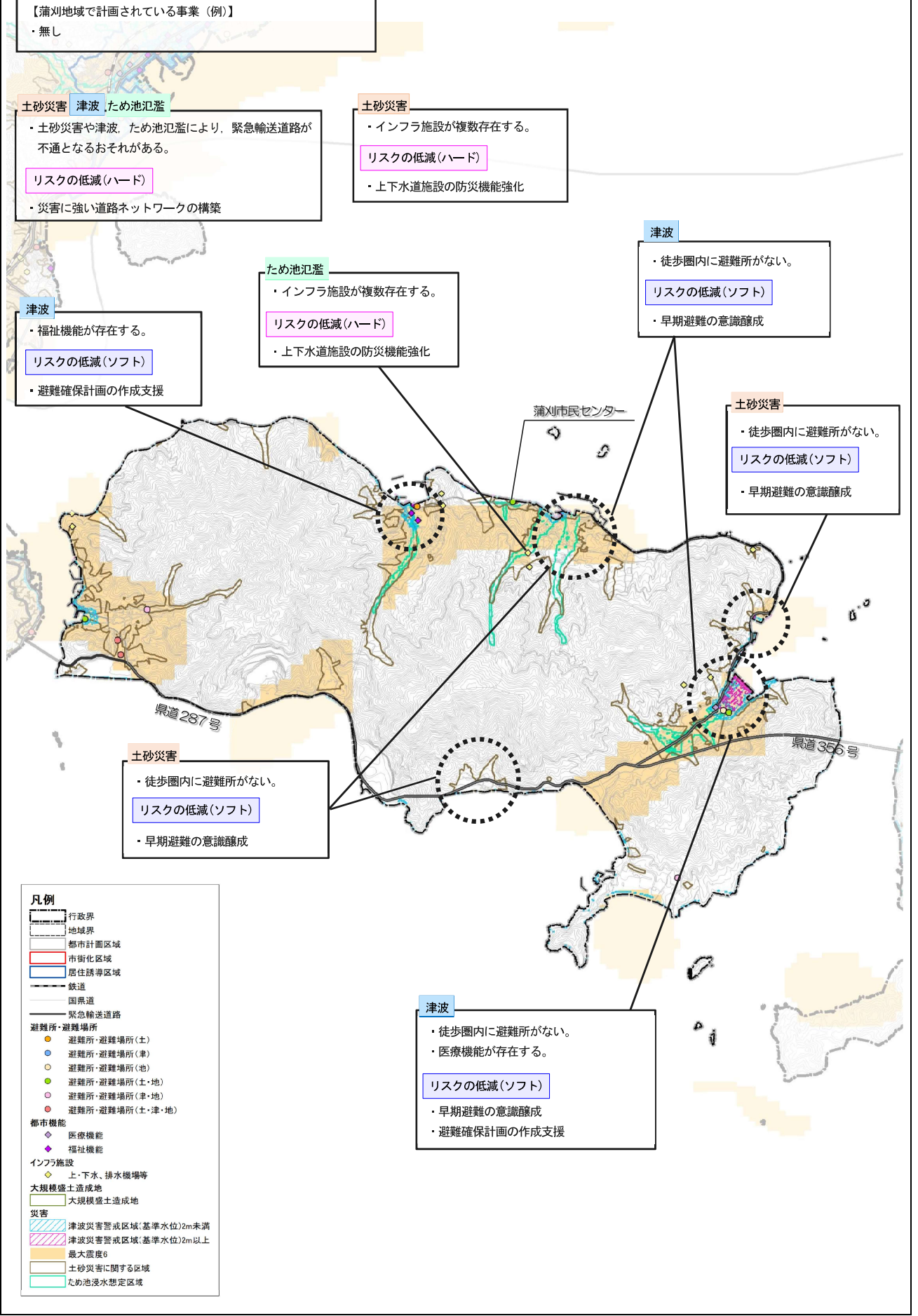


(16) 蒲刈地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

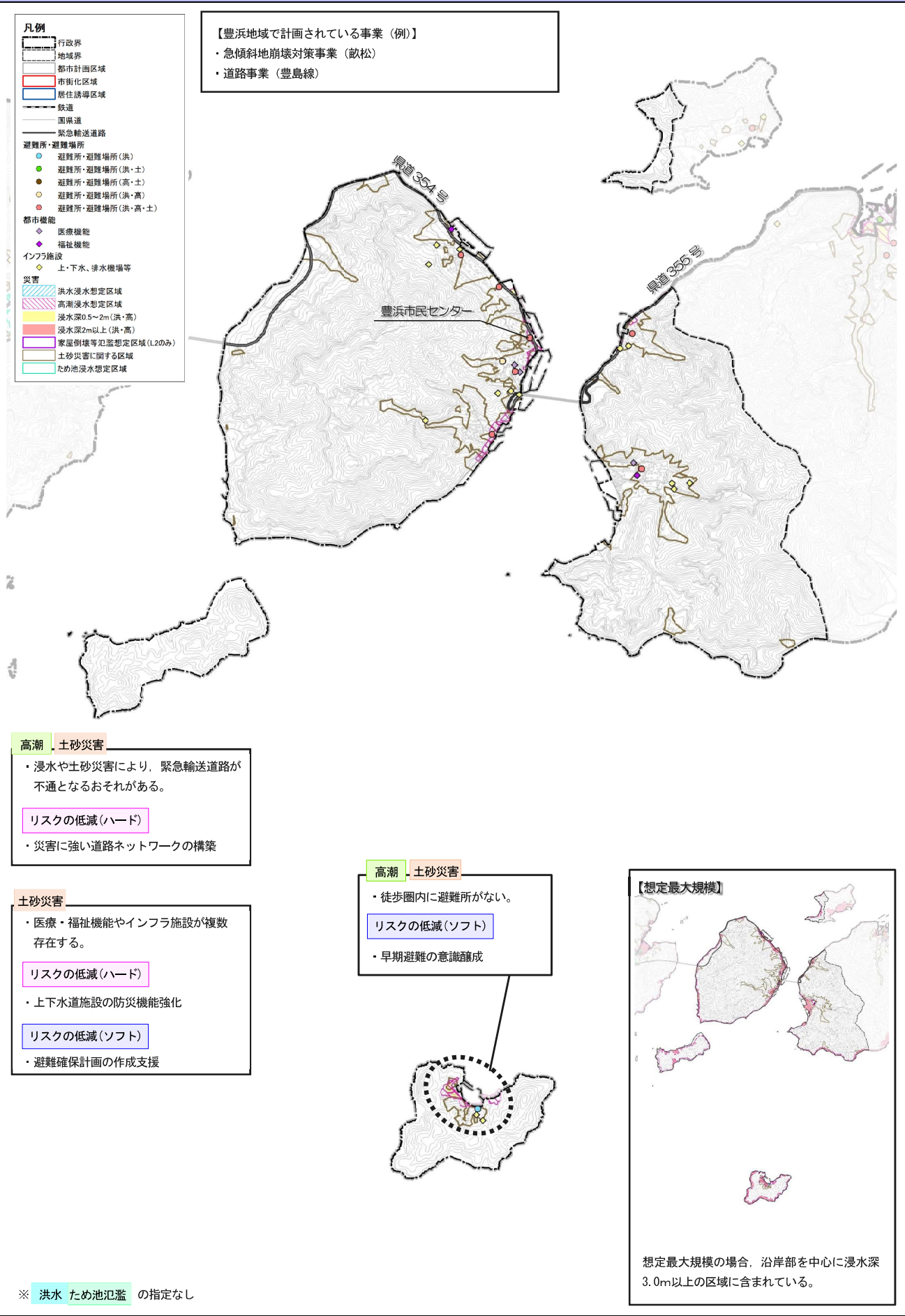


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

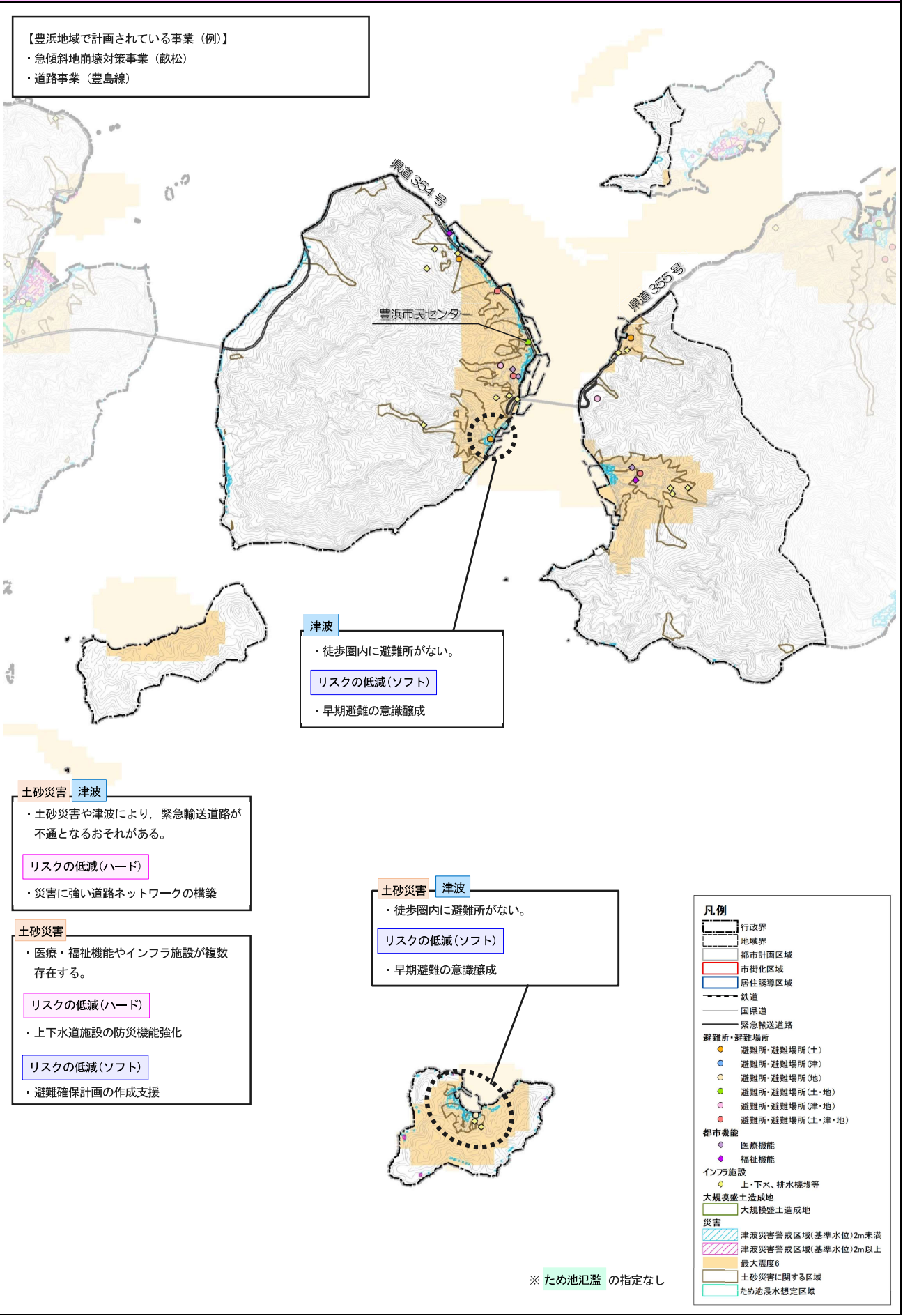


(17) 豊浜地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫

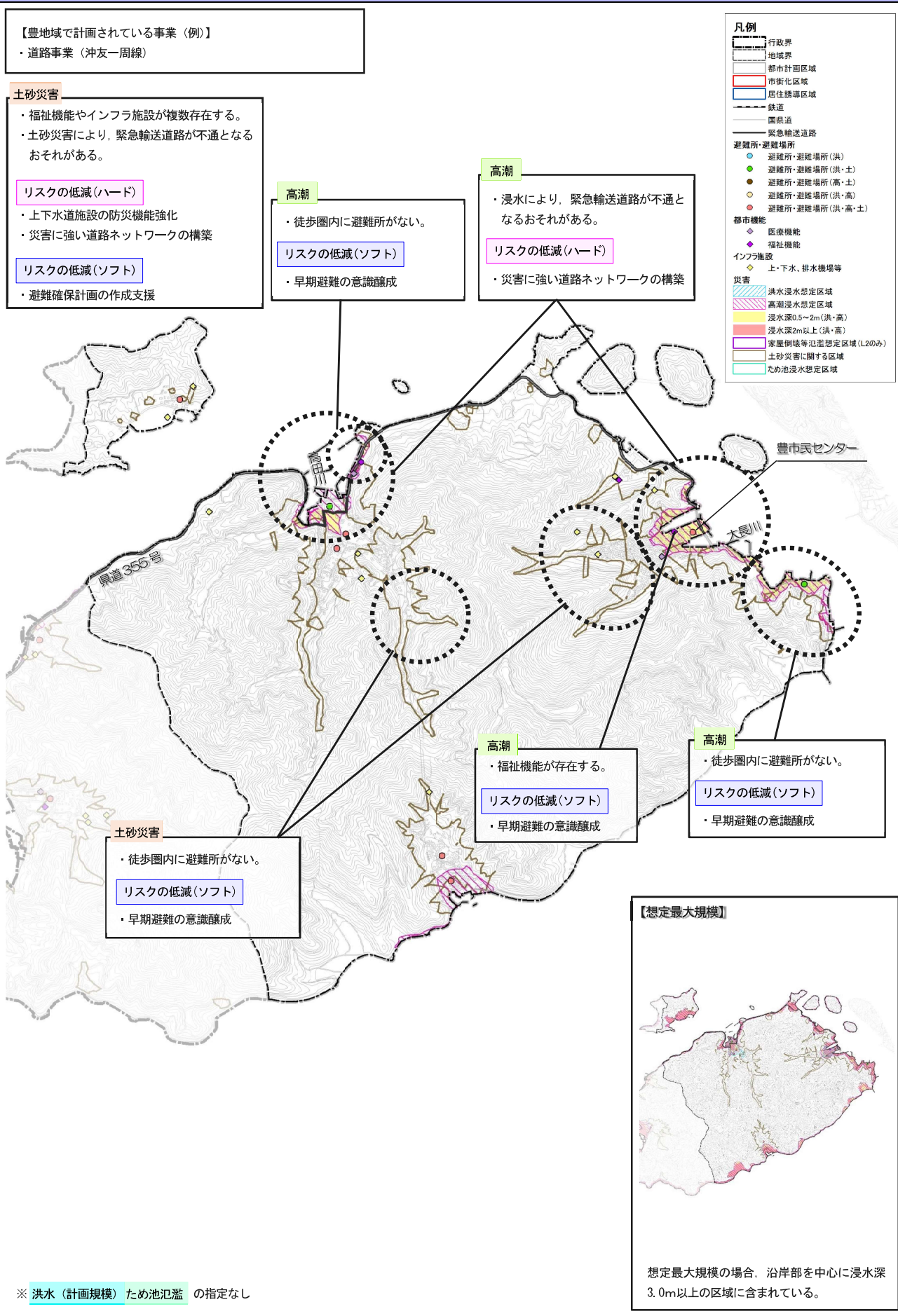


II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫

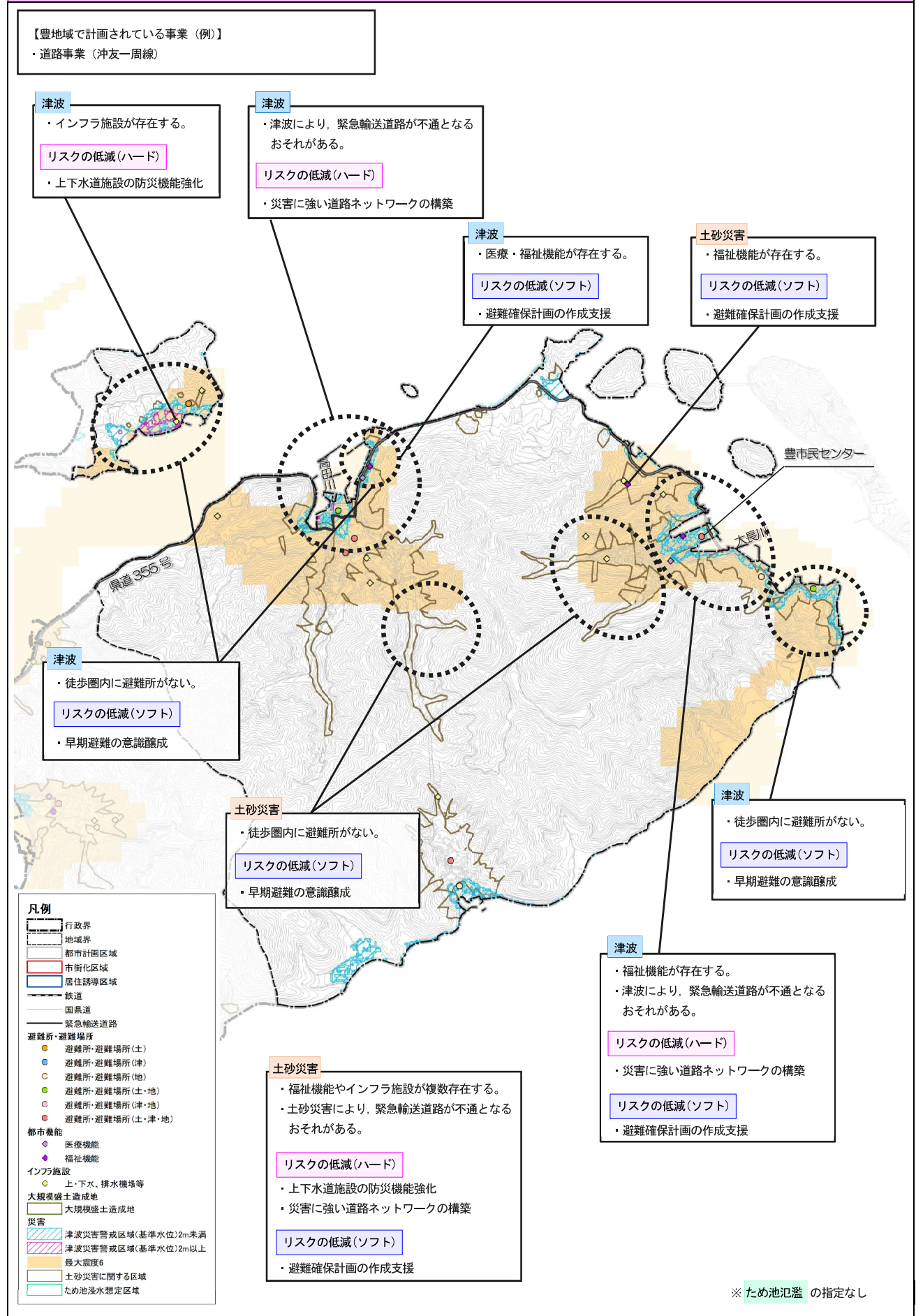


(18) 豊地域

I. 台風や大雨を起因とした災害：洪水×高潮×土砂災害×ため池氾濫



II. 地震を起因とした災害：土砂災害×津波×地震×ため池氾濫



（19）ミクロ分析結果のまとめ

分析項目			分析の視点	分析の結果																	
ハザード情報		都市情報		中央	宮原	警固屋	吉浦	天応	昭和	郷原	阿賀	広	仁方	川尻	安浦	音戸	倉橋	下蒲刈	蒲刈	豊浜	豊
洪水	浸水深 (L1)	建物階数	垂直避難で対応できるか	○					×	×	×	×			×						
		避難所・避難場所	徒歩圏外の地域はないか	○					○	○	○	○			○						
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	○					×	○	○	×			×						
		インフラ（上・下水，排水機場等）	浸水による機能停止はないか	○					○	○	○	×			×						
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	○					×	○	×	×			×						
高潮	浸水深 (30 年 確率)	建物階数	垂直避難で対応できるか	×		×	×	×			×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	-
		避難所・避難場所	徒歩圏外の地域はないか	×		○	○	○			○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	×		×	×	×			×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×
		インフラ（上・下水，排水機場等）	浸水による機能停止はないか	×		○	×	×			×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	×		×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
土砂災害	土砂災害に 関する区域	避難所	徒歩圏外の地域はないか	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×
		インフラ（上・下水，排水機場等）	災害による機能停止はないか	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
津波	浸水深	建物構造（木造建物）	構造被害が発生，流出する木造建物ははないか	○		○	○	○			×	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-
		避難所・避難場所	徒歩圏外の地域はないか	○		○	○	○			○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	×		×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
		インフラ（上・下水，排水機場等）	浸水による機能停止はないか	×		○	×	○			×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	×		×	×	×			×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
地震	震度分布	大規模盛土造成地	大規模盛土造成地はないか	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○
		建物構造（旧耐震基準木造建物）	旧耐震基準木造建物ははないか。																		
		緊急輸送道路	また，旧耐震基準木造建物の倒壊により， 不通となる緊急輸送道路はないか	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-
ため池氾濫	ため池 浸水想定 区域	建物分布	浸水するおそれのある建物ははないか	○			×		×	×	×	×	×	×	×	×	-	-	-		
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	○			○		×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○		
		インフラ（上・下水，排水機場等）	浸水による機能停止はないか	○			○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×		
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	○			○		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×		

分析の結果（凡例） ○：分析の結果課題なし， ×：分析の結果課題あり， ：ハザードの指定なし， -：データ不足のため分析不可

分析の結果から考えられる防災上の課題

分析項目		分析の視点	地域レベルにおける防災上の課題	取組方針・取組内容（案）
ハザード情報	都市情報			
洪水	浸水深（L1）	建物階数	垂直避難で対応できるか	【ハード対策】 ・河川改修や雨水排水の貯留施設の整備等の浸水対策を推進し、浸水被害の軽減に努める必要がある。 ・インフラ施設が浸水により機能停止するおそれがあるため、上下水道施設の計画的な改築・更新や水道施設が被災した場合のバックアップ施設の整備、下水道施設の耐水化の推進等により、機能強化を図る必要がある。 ・浸水により不通となる緊急輸送道路が存在するため、災害発生時も安全・確実に活用できるよう、緊急輸送道路の機能強化を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する必要がある。 【ソフト対策】 ・垂直避難で対応ができない建物が分布しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、市民が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。 ・早期避難すべき都市機能が存在するため、管理者に対して必要な助言を行い、避難場所や経路、方法等を示した避難計画の作成支援を行う必要がある。
		避難所・避難場所	徒歩圏外の地域はないか	
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	
		インフラ（上・下水, 排水機場等）	浸水による機能停止はないか	
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	
高潮	浸水深（30 年確率）	建物階数	垂直避難で対応できるか	【ハード対策】 ・護岸等の海岸保全施設の整備を推進し、浸水被害の軽減に努める必要がある。 ・インフラ施設が浸水により機能停止するおそれがあるため、上下水道施設の計画的な改築・更新や水道施設が被災した場合のバックアップ施設の整備、下水道施設の耐水化の推進等により、機能強化を図る必要がある。 ・浸水により不通となる緊急輸送道路が存在するため、災害発生時も安全・確実に活用できるよう、緊急輸送道路の機能強化を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する必要がある。 【ソフト対策】 ・垂直避難で対応ができない建物が分布しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、市民が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。 ・早期避難すべき都市機能が存在するため、管理者が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。
		避難所・避難場所	徒歩圏外の地域はないか	
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	
		インフラ（上・下水, 排水機場等）	浸水による機能停止はないか	
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	

分析項目		分析の視点	地域レベルにおける防災上の課題	取組方針・取組内容（案）
ハザード情報	都市情報			
土砂災害	土砂災害に関する区域	避難所	徒歩圏外の地域はないか 【ハード対策】 ・国や県と連携し、砂防事業や急傾斜地崩壊対策事業により土砂災害を未然に防止する対策を進める必要がある。 ・インフラ施設が土砂災害により機能停止するおそれがあるため、上下水道施設の計画的な改築・更新や水道施設が被災した場合のバックアップ施設の整備、下水道施設の耐水化の推進等により、機能強化を図る必要がある。 ・土砂災害により不通となる緊急輸送道路が存在するため、災害発生時も安全・確実に活用できるよう、緊急輸送道路の機能強化を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する必要がある。 【ソフト対策】 ・避難所等の徒歩圏外となっている区域が存在しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、市民が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。 ・早期避難すべき都市機能が存在するため、管理者に対して必要な助言を行い、避難場所や経路、方法等を示した避難計画の作成支援を行う必要がある。	<u>リスクの低減(ハード)</u> ・都市基盤の整備（土砂災害対策の推進（砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業）※まちづくり連携砂防等事業含む、上下水道施設の防災機能強化、災害に強い道路ネットワークの構築） <u>リスクの低減(ソフト)</u> ・早期避難の意識醸成（防災情報メールの登録促進、防災行政無線の機能強化等） ・防災・減災知識の普及と意識啓発（避難確保計画の作成支援）
		都市機能（医療・福祉機能）		
		インフラ（上・下水、排水機場等）	災害による機能停止はないか	
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	
津波	浸水深	建物構造（木造建物）	構造被害が発生、流出する木造建物はないか 【ハード対策】 ・護岸等の海岸保全施設の整備を推進し、浸水被害の軽減に努める必要がある。 ・インフラ施設が浸水により機能停止するおそれがあるため、上下水道施設の計画的な改築・更新や水道施設が被災した場合のバックアップ施設の整備、下水道施設の耐水化の推進等により、機能強化を図る必要がある。 ・浸水により不通となる緊急輸送道路が存在するため、災害発生時も安全・確実に活用できるよう、緊急輸送道路の機能強化を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する必要がある。 【ソフト対策】 ・構造被害が発生、流出する木造建物が分布しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、市民が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。 ・避難所等の徒歩圏外となっている区域が存在しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、市民が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。 ・早期避難すべき都市機能が存在するため、管理者に対して必要な助言を行い、避難場所や経路、方法等を示した避難計画の作成支援を行う必要がある。	<u>リスクの低減(ハード)</u> ・都市基盤の整備（海岸保全施設の整備、上下水道施設の防災機能強化、災害に強い道路ネットワークの構築） <u>リスクの低減(ソフト)</u> ・早期避難の意識醸成（防災情報メールの登録促進、防災行政無線の機能強化等） ・防災・減災知識の普及と意識啓発（避難確保計画の作成支援）
		避難所・避難場所	徒歩圏外の地域はないか	
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	
		インフラ（上・下水、排水機場等）	浸水による機能停止はないか	
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	

分析項目		分析の視点	地域レベルにおける防災上の課題	取組方針・取組内容（案）
ハザード情報	都市情報			
地震	震度分布	大規模盛土造成地	大規模盛土造成地はないか	【ハード対策】 ・市全域に強い揺れのリスクがあるため、大規模盛土造成地においては、地質調査や地盤解析等を行う必要がある。 ・地震発生時の家屋等の倒壊による被害の軽減を図るため、住宅や建築物の耐震化や老朽空き家の除却を促進する必要がある。 ・地震により不通となる緊急輸送道路が存在するため、災害発生時も安全・確実に活用できるよう、緊急輸送道路の機能強化を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する必要がある。
		建物構造 （旧耐震基準木造建物） 緊急輸送道路	旧耐震基準木造建物はないか。 また、旧耐震基準木造建物の倒壊により、不通となる緊急輸送道路はないか	
ため池氾濫	ため池 浸水想定 区域	建物分布	浸水するおそれのある建物はないか	【ハード対策】 ・農業利用するため池は損傷状況等に応じて補強工事等の必要な対策を行い、利用しなくなったため池は廃止工事を推進する必要がある。 ・インフラ施設が浸水により機能停止するおそれがあるため、上下水道施設の計画的な改築・更新や水道施設が被災した場合のバックアップ施設の整備、下水道施設の耐水化の推進等により、機能強化を図る必要がある。 ・浸水により不通となる緊急輸送道路が存在するため、災害発生時も安全・確実に活用できるよう、緊急輸送道路の機能強化を図り、災害に強い道路ネットワークを構築する必要がある。 【ソフト対策】 ・早期避難が必要な家屋が分布しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、市民が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。 ・早期避難すべき都市機能が存在しており、避難困難となる前に早期避難に繋げるため、管理者が防災情報メールや防災行政無線等、多様な媒体から幅広く情報を収集できる体制を行政が整えておく必要がある。
		都市機能（医療・福祉機能）	早期避難すべき施設はないか	
		インフラ（上・下水，排水機場等）	浸水による機能停止はないか	
		緊急輸送道路	不通となる緊急輸送道路はないか	